

GARMIN®



**DĒZL™ OTR810 / OTR1010 /
LGV810 / LGV1010**

操作マニュアル

© 2022 Garmin Ltd. or its subsidiaries

無断転載禁ず。著作権法により、Garmin 社の書面による承認なしに、本マニュアルの全体または一部をコピーすることはできません。Garmin 社は、ユーザーや組織に通知する責任を負うことなく本マニュアルの内容を変更または改善したり、内容を変更する権利を有します。本製品の使用に関する最新情報および補足情報については、www.garmin.com を参照してください。

Garmin® および Garmin ロゴは、Garmin Ltd. とその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

BC™、dēzl™、Garmin eLog™、Garmin Express™、および myTrends™ は Garmin Ltd. とその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Android™ は Google LLC の商標です。Apple® および Mac® は、米国およびその他の国における Apple Inc. の登録商標です。Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の所有であり、Garmin はライセンスに基づきこのワードマークまたはロゴを使用しています。microSD® および microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。Love's® および Love's Travel Stops® は、Love's Travel Stops & Country Stores, Inc. の登録商標であり、Pilot Flying J™ および Pilot Flying J Travel Centers™ は Pilot Travel Centers LLC およびその関連会社の商標です。PrePass® は、PrePass Safety Alliance の商標です。Tripadvisor® は TripAdvisor LLC の登録商標です。TruckDown® は TruckDown Info International, Inc. の商標です。Windows® は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。Wi-Fi® および Wi-Fi CERTIFIED MiraCast™ は、Wi-Fi Alliance Corporation の登録商標です。

目次

はじめに..... 1

デバイスの概要.....	1
車両へのデバイスの取り付けと電源の供給.....	2
ダッシュボードへのネジ留め式マウン トの取り付け.....	4
ボールマウントアダプターの取り付 け.....	5
デバイスの電源をオンまたはオフにす る.....	6
GPS 信号を捕捉する.....	6
メイン画面.....	7
アプリの起動.....	7
ショートカットをホーム画面に追加す る.....	8
通知の表示.....	8
ステータスバーアイコン.....	8
タッチスクリーンを使用する.....	8
画面の輝度を調整する.....	8

車両プロフィール..... 9

車両プロフィールを追加する.....	9
乗用車プロフィール.....	9
車両プロフィールの切り替え.....	9
トレーラー情報を変更する.....	10
車両プロフィールを編集する.....	10

ドライバーへの注意喚起の機能とアラ ート..... 10

ドライバーアラートを有効または無効に する.....	11
赤信号カメラとスピードカメラ.....	11

位置の検索と保存を行う..... 12

ジャンル別施設.....	12
トラックのジャンル別施設を検索す る.....	12
検索バーを使用して位置を検索する.....	13
住所を検索する.....	13
カテゴリーを入力して位置を検索す る.....	13
カテゴリー内を検索する.....	13
場所検索の結果.....	14
検索エリアを変更する.....	15
カスタム POI (ジャンル別施設)	15

POI Loader をインストールする.....	15
カスタム POI を検索する.....	15
駐車場.....	16
トラック駐車場を検索する.....	16
Truck Parking Europe を使用して見つ ける.....	16
現在の場所近くの駐車場を検索す る.....	16
検索ツール.....	16
交差点を検索する.....	16
座標を使用して位置を検索する.....	16
Tripadvisor.....	16
Tripadvisor ジャンル別施設 (POI) を 検索する.....	17
最近検索した位置を表示する.....	17
最近検索した場所のリストを消去す る.....	17
現在地情報を表示する.....	17
緊急時サービスとガソリンスタンドを 検索する.....	17
現在地への道順を表示する.....	17
ショートカットを追加する.....	17
ショートカットを削除する.....	18
位置を保存する.....	18
位置を保存する.....	18
現在地を保存する.....	18
保存した位置を編集する.....	18
保存した位置にカテゴリーを割り当て る.....	18
保存した位置を削除する.....	19

目的地へのナビゲーション..... 19

ルート.....	19
ナビゲーションを開始する.....	19
地図を使用してナビゲーションを開始 する.....	19
帰宅する.....	19
地図上のルート.....	20
アクティブ車線案内.....	21
地図上に人気のトラックパスを表示す る.....	22
方向転換と方向指示を表示する.....	22
地図にルート全体を表示する.....	22
到着を計画する.....	22
目的地に到着する.....	22
トラックルートの完了.....	23
目的地の近くの駐車場.....	23
アクティブルートを変更する.....	24

ルートに場所を追加する	24
ルートを形成する	24
迂回路を検索する	24
ルート探索方法を変更する	24
ナビゲーションを停止する	25
推奨ルートを利用する	25
遅延、有料道路、およびエリアを回避する	25
ルート上の交通遅延を回避する	25
道路の回避機能	25
環境ゾーンを回避する	25
カスタム回避	25

地図を使用する 26

地図ツール	27
地図ツールを表示する	27
この先	27
この先の場所を表示する	27
[この先]カテゴリをカスタマイズする	28
次の都市まで	28
この先の都市や出入口サービスの表示	28
警告およびアラート記号	28
制約に関する警告	29
道路状況に関する警告	29
アラート	30
トリップ情報	30
地図からトリップデータを表示する	30
走行履歴を参照する	30
トリップ情報をリセットする	30
進行方向の交通事故を表示する	30
地図上に交通渋滞情報を表示する	30
交通事故情報を検索する	31
地図をカスタマイズする	31
地図レイヤーをカスタマイズする	31
地図データフィールドを変更する	31
地図表示方法を変更する	31

ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能 31

スマートフォンとペアリングする	32
デバイスをペアリングした後のヒント	32
追加 Bluetooth デバイスのペアリング	32

dēzl アプリを使用して住所または場所に移動する	32
スマート通知	33
通知を受信する	33
ハンズフリー通話	33
電話をかける	33
電話を受ける	33
通話中オプションを使用する	34
電話番号をプリセットとして保存する	34
ワイヤレスヘッドセット	34
Bluetooth 機能を有効または無効にする	34
アプリの通知を表示または非表示にする (Android™)	34
Apple® デバイスの通知カテゴリーを表示または非表示にする	34
Bluetooth デバイスの取り外し	35
ペアリングした Bluetooth デバイスを削除する	35
ペアリングした電話を削除する	35

トラフィック 35

スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する	35
地図上に交通渋滞情報を表示する	35
交通事故情報を検索する	36

車両およびドライバーツール 36

休憩の計画	36
推奨の休憩をとる	36
休憩タイマーを開始する	36
休憩タイマーの一時停止とリセット	36
運転時間を調整する	36
1 日の制限運転時間を調整する	37
IFTA	37
燃費データを入力する	37
燃費データを編集する	37
管轄機関の概要を表示およびエクスポートする	37
トリップレポートを編集およびエクスポートする	38
エクスポートされた管轄機関の概要およびトリップレポートを表示する	38
サービス履歴をログに記録する	38
サービスカテゴリーを追加する	38
サービスカテゴリーを削除する	38

サービスカテゴリーの名前を変更する	39
サービスの記録を削除する	39
サービスの記録を編集する	39
PrePass®	39
ロイヤルティプログラム	39

Garmin eLog.....39

Setting Up Your Garmin eLog Adapter	40
Transferring Garmin eLog Data from Another Device	40
Backing Up Data	40
Restoring Data	40
Daily Operation Guidelines	41
Starting a Drive	41
Garmin eLog App Overview	42
Garmin eLog Map Tool Overview	44
Driving in a Team	45
Changing Duty Status	45
Viewing Hours of Service	46
Recording Adverse Conditions	46
Reviewing Logs	46
Certifying Daily Logs	46
Submitting a Daily Log	46
Exporting and Saving a Record of Duty Status (RODS) Report	47
Recording Trailers and Shipments	47
Roadside Inspection	47
Viewing Inspection Information	47
Transferring Data to an Inspector	47
Using Web Services	47
Transferring Data to an Inspector	47
Using Email	47
Transferring Data to an Inspector	47
Using a USB Device	48
Transferring Data to an Inspector	48
Using Bluetooth Wireless Technology	48
Diagnostics and Malfunctions	48
Viewing Diagnostics and Malfunctions	49
Diagnostic Definitions	49
Malfunction Definitions	50
Administrator Functions	51
Adding Driver Profiles	51
Editing a Driver Profile	51
Clearing Garmin eLog App Data	52

音声コマンド.....52

デバイスに話しかける際のヒント	52
Garmin 音声案内ナビゲーションの起動	52
到着時刻の確認	52
音声を使用して電話をかける	52
音声を使用してデバイス設定を変更	53

アプリケーションを使用する.....53

デバイスのマニュアルの表示	53
トラック地図を表示する	53
ルートプランナー	53
ルートを計画する	53
ルートの場所を編集および並べ替える	54
ルートのルートオプションを変更する	54
保存したルートまでナビゲーションする	54
Editing and Saving Your Active Route	54
前のルートと目的地を表示する	54
天気予報を表示する	54
別の都市周辺の天気を表示する	55
ミュージックプレイヤー	55
マップにミュージックプレイヤーツールを追加する	55
Garmin PowerSwitch™ アプリ	56
電源スイッチの有効化	56
すべてのスイッチをオフにする	56
ボタンのカスタマイズ	57
スイッチを制御入力へ割り当てる	57
カスタムレイアウトの追加	57
ルーチン	58

設定.....59

ナビゲーション設定	59
地図および車両設定	60
地図を有効にする	60
ワイヤレスネットワークに接続する	60
Bluetooth 無線技術の有効にする	60
運転者支援の設定	60
トラフィック設定	60
ディスプレイ設定	61
サウンドと通知の設定	61
サウンドと通知の音量を調整する	61

位置情報サービスを有効または無効にする	61	前面カバーを開く	69
テキスト言語を設定する	61	アクセサリーの接続	70
日付と時刻の設定	61	制御入力の接続	70
デバイス設定	62	デバイスを車両電源に接続する	71
デバイス情報..... 62		Garmin ナビゲーションデバイスとの ペアリング	71
E ラベルの規制およびコンプライアンス 情報の表示	62	Garmin PowerSwitch 仕様	72
仕様	62	トラブルシューティング	72
デバイスを充電する	62	ワイヤレスカメラ	72
デバイスのメンテナンス..... 62		BC™ 50 バックアップカメラと Garmin ナビゲーションデバイスをペアリング する	73
Garmin サポートセンター	62	有線のバックアップカメラを接続す る	73
Wi-Fi ネットワークの使用による地図と ソフトウェアの更新	63	バックアップカメラを表示する	74
Garmin Express による地図とソフトウ エアの更新	64	電動マウントへのダッシュカメラの接 続	75
Garmin Express をインストールす る	65	データ管理	75
デバイスのお手入れ	65	メモ리카ードについて	75
外側ケースのクリーニング	65	地図およびデータ用のメモリーカード を挿入する	75
タッチスクリーンのクリーニング	65	メモリーカードのフォーマット	76
盗難防止	65	デバイスをコンピュータに接続す る	76
デバイスをリセットする	66	コンピュータからデータを転送す る	76
デバイス、マウント、吸着カップを取り 外す	66	追加の地図を購入する	76
吸着カップからマウントを取り外 す	66	アクセサリーを購入する	76
フロントガラスから吸着カップを取り 外す	66		
トラブルシューティング..... 66			
吸盤がフロントガラスに取り付けられな い	66		
運転中にマウントでデバイスが所定の位 置に保持されない	66		
デバイスで衛星信号を受信できない	66		
デバイスを車両で充電できない	66		
充電しても電池の電力が長持ちしな い	67		
デバイスがスマートフォンに接続されま せん	67		
付録..... 67			
Garmin PowerSwitch	67		
取り付けに関する注意事項	67		
デバイスの取り付け	68		

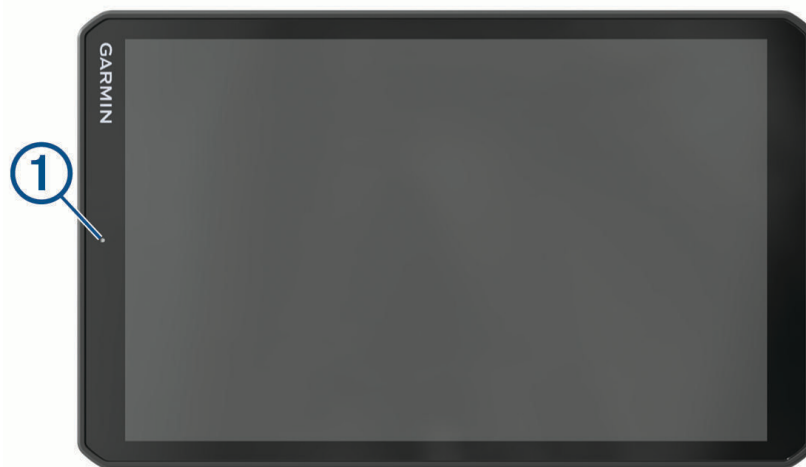
はじめに

⚠ 警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

- デバイスで地図とソフトウェアを更新します (Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新, 63 ページ)。
- デバイスを車両に取り付けて電源に接続します (車両へのデバイスの取り付けと電源の供給, 2 ページ)。
- 音量 (サウンドと通知の音量を調整する, 61 ページ)とディスプレイの輝度 (画面の輝度を調整する, 8 ページ)を調整します。
- トラックの車両プロフィールを設定します (車両プロフィールを追加する, 9 ページ)。
- 目的地 (ナビゲーションを開始する, 19 ページ)に移動します。

デバイスの概要



①	ハンズフリー通話および音声コマンド用マイク
②	音量調節
③	電源キー
④	USB 電源およびデータポート
⑤	地図およびデータメモ리카ードスロット
⑥	14 ピンコネクタ付き磁気マウントインターフェイス
⑦	スピーカー

車両へのデバイスの取り付けと電源の供給

⚠ 警告

この製品には、リチウムイオン電池が使用されています。電池を高温になる場所に放置すると、怪我や製品損傷の可能性があるため、直射日光を避けた場所で装置を保管してください。

デバイスとマウントの両方に磁石が取り付けられています。特定の状況下では、磁石が一部の体内医療機器や電子機器（ペースメーカー、インシュリンポンプ、ノートパソコンのハードドライブなど）と干渉する可能性があります。デバイスを医療機器や電子機器に近づけないでください。

デバイスをバッテリーで使用する前に、バッテリーを充電する必要があります。

- 1 レバー ① を開き、吸盤をフロントガラスに押し付けてレバーをフロントガラスの方向に戻します。
レバーはフロントガラスの上部に向いている必要があります。



- 2 車両電源ケーブル ② をマウントのポートに接続します。

- 3 必要に応じて、吸着カップアームのつまみネジ ③ とボールマウントのナット ④ を緩め、見やすく操作しやすいようにマウントを調整します。



- 4 吸着カップアームのつまみネジとボールマウントのナットを締めます。
5 デバイスを磁気マウントに載せます。



- 6 車両の電源ケーブルの反対側の端を、車両の電源コンセントに接続します。

ダッシュボードへのネジ留め式マウントの取り付け

ネジ留め式ボールマウントをダッシュボードに取り付ける前に、ダッシュボード上の適切な位置を選択する必要があります。

⚠ 警告

取り付け場所がすべての適用法および条例を遵守していること、また車両の安全な操作中に視界を妨げないことを保証する責任はお客様にあります。

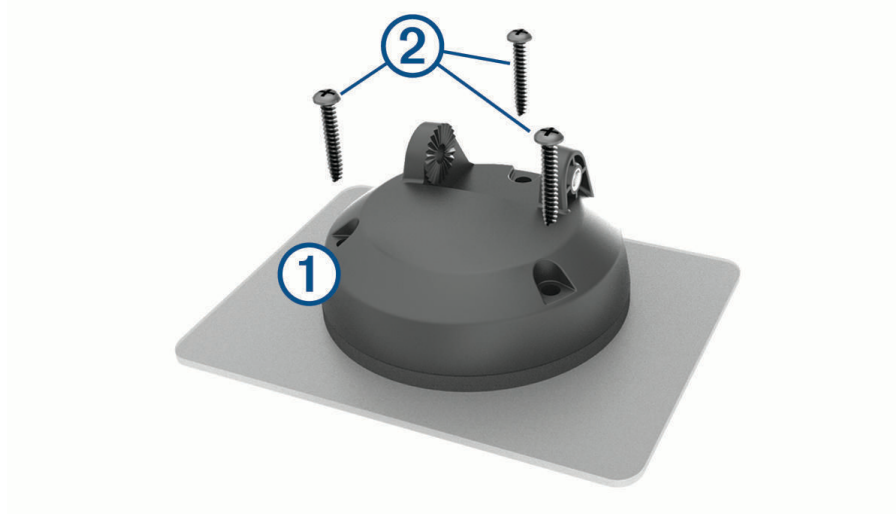
注記

車両にパイロット穴を開け、マウントを取り付けるときには、ワイヤ、計器、エアバッグ、エアバッグカバー、HVACなどは避けてください。Garmin®は、取り付けによって生じた損害や結果については一切責任を負いません。

注記

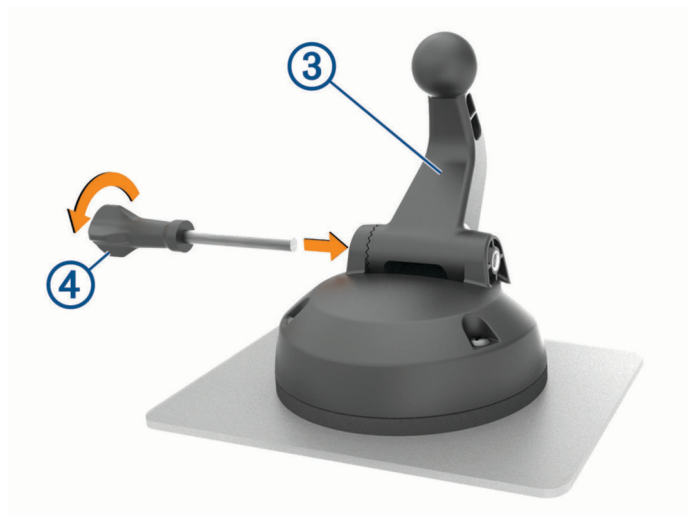
車両の損傷を防ぐため、Garmin は、専門の設置会社によるネジ留め式ボールマウントの取り付けを推奨しています。

- 1 選択した場所にマウント ① を配置します。



- 2 マウントをテンプレートとして使用し、3箇所ネジ位置に印を付けます。
- 3 パイロットホールを開けます (オプション)。
一部のタイプの取り付け材質では、パイロットホールをドリルで開ける必要があります。
- 4 付属のネジ ② を使用して、マウントを表面にしっかりと固定します。

5 ボールマウントアーム ③ をマウントに挿入します。

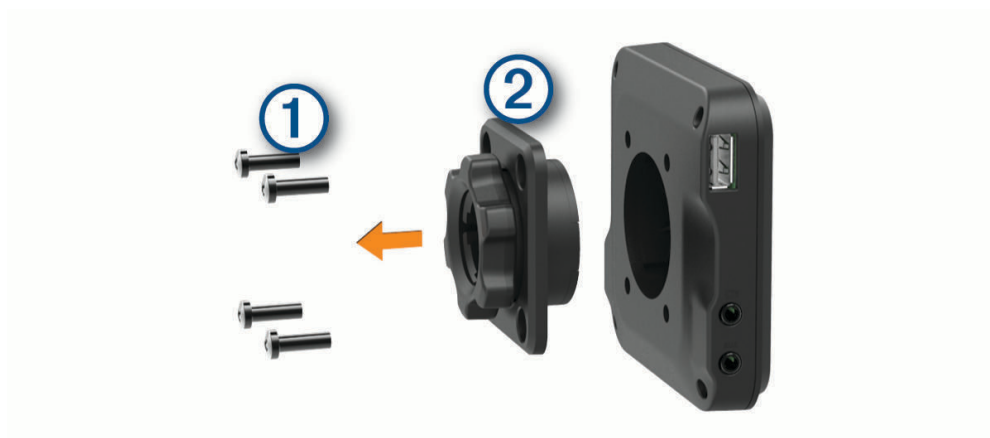


6 蝶ネジ ④ をマウントに挿入し、締め付けてボールマウントアームを固定します。

ボールマウントアダプターの取り付け

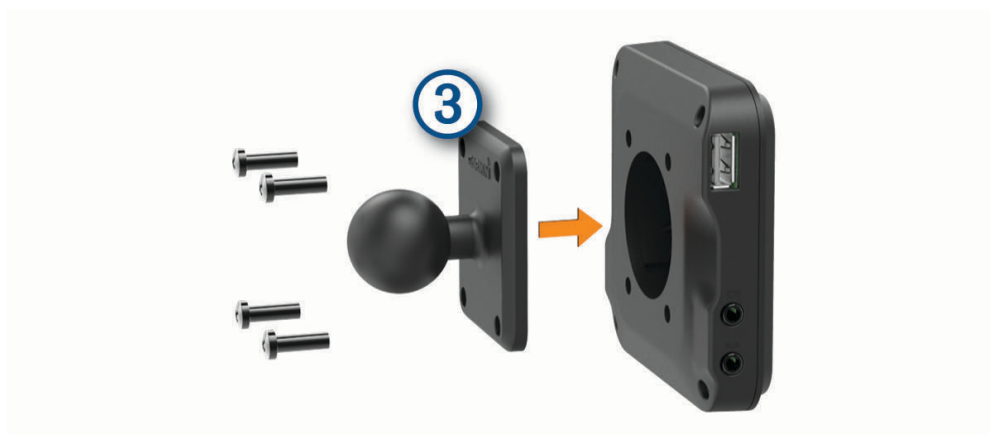
お使いのデバイスには、サードパーティ製マウントソリューションと互換性のある 1 インチボールマウントが付属しています。

1 マウントソケット ② を磁気マウントに固定している 4 本のネジ ① を外します。



2 マウントソケットを取り外します。

3 手順 1 で取り外したネジを使用して、1 インチボールマウント ③ を磁気マウントに固定します。



デバイスの電源をオンまたはオフにする

- デバイスの電源をオンにするには、電源キー ① を押すか、デバイスを電源に接続します。



- デバイスを省電力モードにするには、デバイスの電源がオンになっている状態で電源キーを押します。
省電力モードになっている間は画面がオフになり、デバイスはわずかな電力しか消費しませんが、すぐに復帰して使用できます。
ヒント：バッテリーを充電している間にデバイスを省電力モードにすることにより、デバイスの充電時間を短縮できます。
- デバイスの電源を完全にオフにするには、画面にプロンプトが表示されるまで電源キーを押し続け、**電源オフ**を選択します。

GPS 信号を捕捉する

ナビゲーションデバイスの電源をオンにしたとき、GPS レシーバーは衛星データを収集して現在地を確定する必要があります。衛星信号の取得に要する時間は、ナビゲーションデバイスを最後に使用した場所からどのくらい離れているか、空をはっきり見渡せる場所にいるかどうか、あるいは最後にナビゲーションデバイスを使用してからのどのくらい経っているかなど、さまざまな要素によって異なります。初めてナビゲーションデバイスの電源をオンにしたときは、衛星信号の取得に数分かかることがあります。

- 1 デバイスの電源をオンにします。
- 2 ステータスバーの📍表示を確認します。位置情報サービスが有効になっていない場合は有効にします ([位置情報サービスを有効または無効にする, 61 ページ](#))。
- 3 必要な場合には、高層ビルや樹木から離れて、空を見渡すことができる開けた場所に移動します。
デバイスが現在位置を特定するまで、ナビゲーションマップの上部には衛星の捕捉が表示されます。

メイン画面

注：カスタマイズした場合、ホーム画面のレイアウトが異なる場合があります。



- | | |
|---|---|
| ① | 下にスワイプすると、通知が表示されます。
下に 2 回スワイプすると、設定やバックライトの輝度をすばやく変更できます。 |
| ② | 選択すると、ルートを開始します。 |
| ③ | 選択すると、地図を表示できます。 |
| ④ | 選択すると、車両プロフィールを変更できます。 |
| ⑤ | 選択すると、現在地の天気情報が表示されます。dēzl アプリが必要です。 |
| ⑥ | 選択すると、スマート通知が表示されます。dēzl アプリが必要です。 |
| ⑦ | 選択してアプリドローを開きます。アプリドローには、お使いのデバイスにインストールされている全アプリのショートカットが表示されます。 |
| ⑧ | 長押しすると、壁紙をカスタマイズしたり、ウィジェットをホーム画面に追加したりできます。 |

アプリの起動

ホーム画面には、よく使うアプリのショートカットが表示されます。アプリドローでは、お使いのデバイスにインストールされている全アプリが、2つのタブに分類されて表示されます。dēzl タブには、ナビゲーション、サービス時間の記録に役立つ Garmin アプリが表示されます。ツールタブには、通信やその他の作業に役立つアプリが表示されます。

アプリの起動オプションを選択する：

- ・ ホーム画面からアプリのショートカットを選択します。
- ・ ■■を選択し、タブ、アプリの順に選択します。

ショートカットをホーム画面に追加する

- 1 を選択します。
- 2 アプリタブを選択すると、その他のアプリが表示されます。
- 3 アプリケーションを長押しして、ホーム画面上の位置にドラッグします。

通知の表示








⚠ 警告

運転中は通知を読んだり、操作したりしないでください。注意が散漫となり、事故が発生して重傷または死亡につながるおそれがあります。

- 1 画面上部から下にスワイプします。
通知のリストが表示されます。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - 通知に記載されているアクションまたはアプリを起動するには、通知を選択します。
 - 通知を閉じるには、通知を右にスワイプします。

ステータスバーアイコン

ステータスバーはメインメニューの一番上に配置されています。ステータスバーアイコンはデバイスの機能情報を表示します。

	位置情報サービスが有効になっています (位置情報サービスを有効または無効にする, 61 ページ)。
	Bluetooth® 技術が有効になっています。
	Bluetooth デバイスに接続しています。
	Wi-Fi® ネットワークに接続されています (ワイヤレスネットワークに接続する, 60 ページ)。
	アクティブな車両プロファイル。下に 2 回スワイプして、車両プロファイル設定 (車両プロファイル, 9 ページ) の表示を選択します。
	バッテリー充電レベル
	dēzl アプリの接続ステータス (スマートフォンとペアリングする, 32 ページ)

タッチスクリーンを使用する

- 画面をタップしてアイテムを選択します。
- 画面を指でドラッグまたはスワイプしてパンまたはスクロールします。
- 画面上で 2 本の指でつまむとズームアウトします。
- 画面上で 2 本の指を広げるとズームインします。

画面の輝度を調整する

ユーザーは、通知パネルまたは設定メニューを使用して、手動で輝度を調整できます。

- 1 次の中からオプションを選択します。
 - 画面の上部から下に 2 回スワイプして、通知パネルのクイック設定を展開します。
 - **設定 > デバイス > ディスプレイ > 輝度レベル** の順に選択します。
- 2 スライダーバーを使用して、輝度を調整します。

車両プロフィール

⚠ 警告

車両のプロファイル特性を入力しても、すべての推奨ルートでその特性が考慮されるわけではありません。また、警告アイコンが表示されない場合もあります。このデバイスではこのような制約や道路状況のすべてを把握できないため、地図データには限界があります。運転中は掲示されている道路標識と実際の道路状況を常に優先してください。

ルート探索およびナビゲーションは、車両プロフィールに基づいて計算されます。有効化された車両プロフィールは、ステータスバーのアイコンで示されます。デバイスのナビゲーション設定と地図設定は、車両タイプごとに個別にカスタマイズできます。

トラックの車両プロフィールを有効化するとき、デバイスは、寸法、重量、および車両に関して入力したその他の特性に基づいて、ルート内の制限区域や通行不能な区域を含めないようにします。

車両プロフィールを追加する

車両の重量、寸法、その他の特性を含めて、車両プロフィールを追加できます。

- 1 メイン画面で、車両プロフィールのウィジェットを選択します ([メイン画面, 7 ページ](#))。
- 2 次のの中からオプションを選択します。
 - ・ 常時接続された貨物領域があるストレートトラックを追加するには、**ストレートトラック**を選択します。
 - ・ トラクターまたはトラクターとトレーラーの組み合わせを追加するには、**トラクター**を選択します。
 - ・ バスを追加するには、**バス**を選択します。
- 3 画面上の指示に従って、車両特性を入力します。



車両プロフィールを追加した後、プロフィールを編集して、車両識別番号、トレーラー番号など追加の詳細情報を入力できます ([車両プロフィールを編集する, 10 ページ](#))。

乗用車プロフィール

乗用車プロフィールは、トレーラーのない自動車での使用を目的としたロード済みの車両プロフィールです。乗用車プロフィールを使用している間は、デバイスが普通車のルートを計算するため、大型車のルート指定は使用できません。乗用車プロフィールを使用している間は、大型車に固有の機能および設定が一部使用できません。

車両プロフィールの切り替え

デバイスをオンにするたびに、車両プロフィールの選択を求められます。別の車両プロフィールにいつでも手動で切り替えることができます。


- 1 次のの中からオプションを選択します。
 - ・ 画面上部から下に 2 回スワイプして、 や  などの車両プロフィールアイコンを選択します。
 - ・ メイン画面で、車両プロフィールのウィジェットを選択します ([メイン画面, 7 ページ](#))。
- 2 車両プロフィールを選択します。

測定値や重量とともに車両プロフィール情報が表示されます。
- 3 **選択**を選択します。

トレーラー情報を変更する






トレーラー情報を変更する前に、トラクターの車両プロフィールを入力する必要があります(車両プロフィールを追加する, 9 ページ)。

トラクターでトレーラーを変更すると、トラクター情報を変更せずに車両プロフィールのトレーラー情報を変更できます。頻繁に使用するトレーラーをすばやく切り替えられます。

- 1 メイン画面で、車両プロフィールのウィジェットを選択します(メイン画面, 7 ページ)。
- 2 トレーラーと使用するトラクターの車両プロフィールを選択します。
- 3 を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 最近のトレーラー構成を使用するには、リストからトレーラー構成を選択します。
 - ・ 新しいトレーラー構成を入力するには、新しい構成を選択し、トレーラー情報を入力します。

車両プロフィールを編集する

車両プロフィールを編集して、車両情報を変更したり、新しい車両プロフィールに車両識別番号、トレーラー番号、オドメーター測定値などの詳細情報を追加できます。車両プロフィールの名前を変更したり削除したりすることもできます。

- 1 メイン画面で、車両プロフィールのウィジェットを選択します(メイン画面, 7 ページ)。
- 2 編集する車両プロフィールを選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 車両プロフィール情報を編集するには、を選択し、編集するフィールドを選択します。
 - ・ 車両プロフィールの名前を変更するには、 >  > プロファイル名の変更 の順に選択します。
 - ・ 車両プロフィールを削除するには、 >  > 削除 の順に選択します。

ドライバーへの注意喚起の機能とアラート

⚠ 注意

ドライバーアラートと制限速度機能は情報提供を行っているだけであり、すべての速度制限標識を守り、安全な運転の判断を行う責任はいかなる場合でも運転者にあります。Garmin は、適用されるすべての交通法規および標識に違反したことにより受ける罰金または出頭命令については一切責任を負いません。

このデバイスは、慣れ親しんだ地域で運転している場合でも、より安全な運転や効率の向上に役立つ機能を備えています。デバイスは、アラートごとに通知音または音声メッセージを再生し、情報を表示します。一部の運転者アラートについて通知音をオン / オフできます。アラートによっては、利用できない地域もあります。

学校: デバイスが通知音を再生し、この先の学校やスクールゾーンに関する制限速度 (場合) を表示します。
制限速度超過: 現在の道路に掲示されている制限速度を超えると、デバイスは速度制限アイコンに赤枠を表示します。

制限速度低下: デバイスは通知音を再生し、この先の制限速度を表示するため、速度を調節する準備ができます。

踏切: デバイスが通知音を再生し、この先の踏切を示します。

動物出没: デバイスが通知音を再生し、この先の動物出没エリアを示します。

カーブ: デバイスが通知音を再生し、道路のカーブを示します。

渋滞: 渋滞に速い速度で近づくと、デバイスが通知音を再生し、渋滞が発生していることを示します。この機能を使用するには、デバイスでトラフィック情報を受信している必要があります ([トラフィック](#), 35 ページ)。

工事ゾーン: 工事ゾーンに接近すると、デバイスが通知音を再生してメッセージを表示します。

車線閉鎖: 車線閉鎖に接近すると、デバイスが通知音を再生してメッセージを表示します。

休憩の計画: 長時間運転し続けていると、デバイスが通知音を再生し、この先の休憩場所を提案します。

トラック走行禁止: トラックの走行が禁止されている道路に接近すると、デバイスは通知音を再生します。

接地の危険あり: 車両が接地する可能性のある道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

つづら折れ: つづら折れのリスクがある道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

道幅減少: 車両が通過するには狭すぎる道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

急な下り坂: 急な下り坂に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

州および国の境界: 州または国の境界に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

ドライバーアラートを有効または無効にする

数種類のドライバーアラートを有効または無効にすることができます。

- 1 設定 > 安全運転支援 > オーディブルドライバーアラートの順に選択します。
- 2 各アラートの横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。

赤信号カメラとスピードカメラ

注記

Garmin は、赤外線カメラやスピードカメラのデータベースの正確性、またはその使用による影響に対して一切の責任を負いません。

注: この機能は、一部の国、または製品モデルではご利用いただけません。

製品モデルによっては、一部地域で赤信号カメラおよびスピードカメラの位置に関する情報が利用できます。報告されたスピードカメラや赤信号カメラに近づくと、アラートされます。

- 一部の地域では、dēzl アプリを実行しているスマートフォンをデバイスに接続すると、赤信号データとスピードカメラのデータを受信できます。
- Garmin Express™ ソフトウェア (garmin.com/express) を使用してデバイスに保存されたカメラデータベースを更新できます。最新のカメラ情報を受信するために、デバイスを頻繁に更新してください。

位置の検索と保存を行う

デバイスにロードされた地図には、レストランやホテル、自動車関連などの場所や詳細なストリート情報が含まれています。目的地検索メニューは、参照、検索、情報の保存のために利用できる複数の方法により、目的地の検索に役立ちます。

メインメニューで**目的地検索**を選択します。

- デバイス上のすべての場所をすばやく検索するには、**Q 検索**を選択します (**検索バーを使用して位置を検索する, 13 ページ**)。
- 住所を検索するには、**住所**を選択します (**住所を検索する, 13 ページ**)。
- カテゴリーごとにロード済みのジャンル別施設を参照または検索するには、**カテゴリー**を選択します (**カテゴリーを入力して位置を検索する, 13 ページ**)。
- 別の都市や地域の周辺を検索するには、現在の検索エリアの横にある📍を選択します (**検索エリアを変更する, 15 ページ**)。
- 保存済み位置情報を表示および編集するには、**保存済み**を選択します (**位置を保存する, 18 ページ**)。
- 検索結果から最近選択した場所を表示するには、**最近表示した項目** (**最近検索した位置を表示する, 17 ページ**)を選択します。
- トラックストップやサービスを検索するには、**カテゴリー > トラッキング**を選択します (**トラックのジャンル別施設を検索する, 12 ページ**)。
- Tripadvisor®トラベラー評価を参照および検索するには、**Tripadvisor**を選択します (**Tripadvisor, 16 ページ**)。
- 特定の地理座標に移動するには、**座標**を選択します (**座標を使用して位置を検索する, 16 ページ**)。

ジャンル別施設

注記

ユーザーはジャンル別施設に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

ジャンル別施設は、有用と思われるまたは興味深い場所です。ジャンル別施設は、カテゴリー別に分類されガソリンスタンド、レストラン、ホテル、娯楽施設などよく知られた移動先を含めることができます。

トラックのジャンル別施設を検索する

注記

ユーザーはジャンル別施設に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

デバイスにロードされた詳細地図には、トラックストップ、サービスエリア、計量場所など、トラックのジャンル別施設が含まれています。

目的地検索 > カテゴリー > トラッキングの順に選択します。

検索バーを使用して位置を検索する

検索バーでは、カテゴリー、ブランド名、住所、または都市名を入力して位置を検索します。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 検索バーで **検索** を選択します。
- 3 検索語の全体または一部を入力します。
検索語の候補が検索バーの下に表示されます。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 業種名を検索するには、「映画館」などのカテゴリー名を入力します。
 - ・ 店名を検索するには、名前の一部またはすべてを入力します。
 - ・ 現在地の住所を検索するには、番地またはストリート名を入力します。
 - ・ 別の都市の住所を検索するには、州名、都市名、ストリート名および番地を入力します。
 - ・ 都市を検索するには、州名および都市名を入力します。
 - ・ 座標を検索するには、緯度 / 経度を入力します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 検索語の候補を使用して検索するには、検索語を選択します。
 - ・ 入力したテキストを使用して検索するには、**Q** を選択します。
- 6 必要に応じて、位置を選択します。

住所を検索する

注：デバイスにロードした地図データによっては、手順が異なる場合があります。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 必要に応じて、📍を選択して、別の都市または地域の周辺を検索します。
- 3 住所を選択します。
- 4 画面に表示される指示に従い、住所情報を入力します。
- 5 番地等を選択します。

カテゴリーを入力して位置を検索する

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 カテゴリーを選択するか、または **カテゴリー** を選択します。
- 3 必要に応じて、サブカテゴリーを選択します。
- 4 位置を選択します。

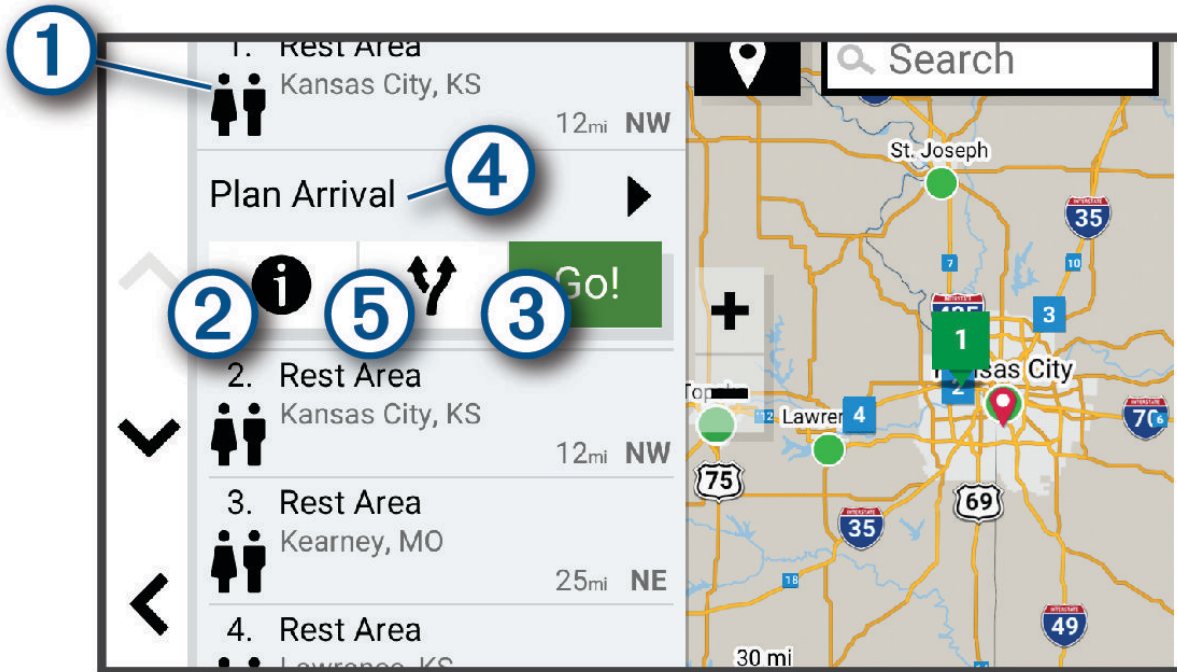
カテゴリー内を検索する

ジャンル別施設の検索後、ある特定のカテゴリーに、最後に選択した目的地からさかのぼって 4 か所を含むクイックサーチリストが表示される場合があります。

- 1 目的地検索 > カテゴリーの順に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 画面右側のクイックサーチリストから、目的地を選択します。
クイックサーチリストには、選択したカテゴリーで最近検索した場所のリストが表示されます。
 - ・ 必要に応じてサブカテゴリーを選択し、目的地を選択します。

場所検索の結果

場所検索の結果はリストに表示され、最も近い場所が一番上に表示されます。番号付きの各場所はマップ上にも表示されます。下にスクロールしてより多くの結果を表示できます。

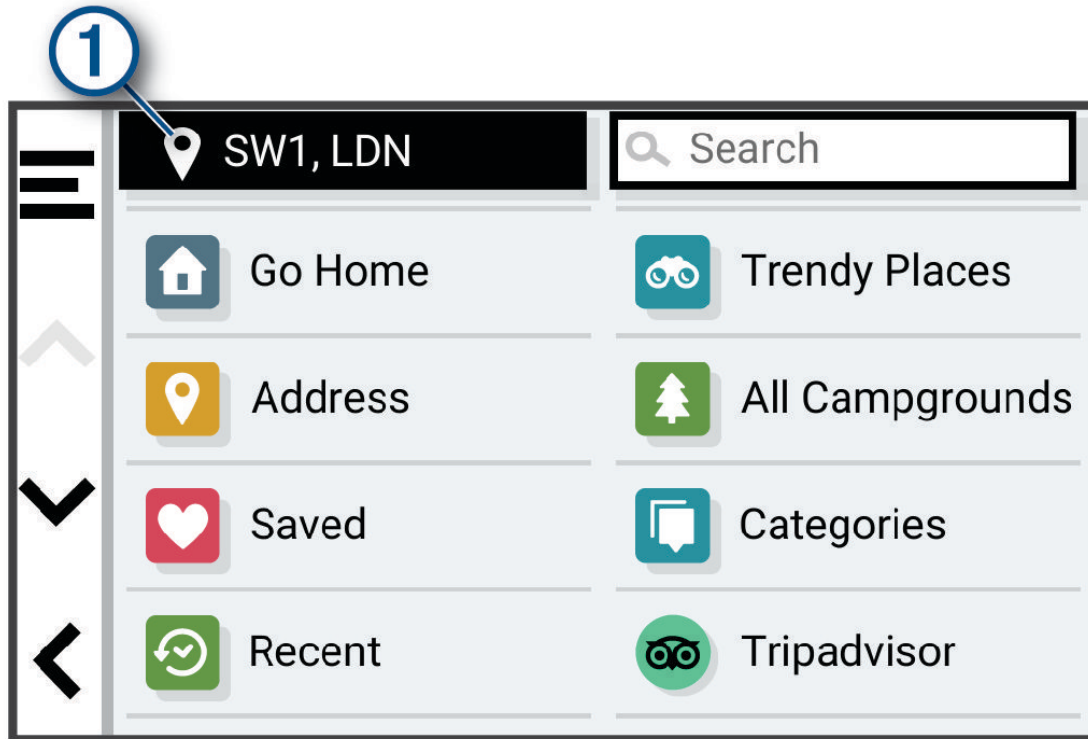


①	場所を選択してオプションメニューを表示します。
② i	選択すると、場所に関する詳細情報が表示されます。
③ Go !	選択して、推奨ルートを使用して場所へのナビゲーションを開始します。
④ 到着計画	目的地の地図の表示を選択して、トラックの目的地を見つけます。
⑤ Y	選択すると、場所への代替ルートが表示されます。

検索エリアを変更する

デフォルトでは、デバイスは現在地に近い場所を検索します。目的地の近く、別の都市の近く、アクティブルート沿いなど別のエリアの検索もできます。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 現在の検索エリア ① の横にある📍を選択します。



- 3 検索エリアを選択します。
 - 4 必要に応じて、画面の指示に従って、特定の場所を選択します。
- 選択した検索エリアが📍の横に表示されます。目的地検索メニューのオプションを使用して場所を検索すると、そのエリアの近くにある場所が提案されます。

カスタム POI (ジャンル別施設)

カスタム POI は、地図上のカスタマイズされたポイントのことです。カスタム POI には、指定した地点に近づいた場合や走行スピードが指定スピードを超えた場合などに通知するアラートを設定することができます。

POI Loader をインストールする

コンピュータでカスタム POI リストを作成またはダウンロードし、POI Loader ソフトウェアを使用して、デバイスにインストールできます。

- 1 www.garmin.com/poiloader を参照してください。
- 2 画面に表示される指示に従います。

カスタム POI を検索する

カスタム POI を検索できるようにするには、POI Loader ソフトウェアを使用して、デバイスにカスタム POI をロードする必要があります ([POI Loader をインストールする, 15 ページ](#))。

- 1 目的地検索 > カテゴリーの順に選択します。
- 2 [その他のカテゴリー] セクションにスクロールし、目的のカテゴリーを選択します。

駐車場

トラック駐車場を検索する

- 1 目的地検索 > カテゴリー > トラッキング > 駐車場の順に選択します。
- 2 駐車場を選択します。
- 3 Go! を選択します。

Truck Parking Europe を使用して見つける

- 1 目的地検索 > Truck Parking Europe の順に選択します。
- 2 必要に応じて、施設とブランドでフィルタリングを選択し、1 つ以上の属性を選択して検索を選択します。
- 3 駐車場を選択します。
- 4 Go! を選択します。

現在の場所近くの駐車場を検索する

- 1 目的地検索 > カテゴリー > 駐車場の順に選択します。
- 2 駐車場をフィルタリングを選択し、空き状況、タイプ、価格、または支払い方法の 1 つまたは複数のフィルタカテゴリを選択します (オプション)。
注: 詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。
- 3 駐車場を選択します。
- 4 Go! を選択します。

検索ツール


検索ツールでは、画面に表示される指示に従って、特定の位置を検索できます。

交差点を検索する

- 2 本のストリート、幹線道路、またはその他の道路の間にある交差点またはジャンクションを検索できます。
- 1 目的地検索 > 交差点の順に選択します。
 - 2 画面に表示される指示に従い、ストリート情報を入力します。
 - 3 交差点を選択します。

座標を使用して位置を検索する

緯度 / 経度を指定して、位置を検索できます。これはジオキャッシングを行う場合に役立ちます。

- 1 目的地検索 > 座標の順に選択します。
- 2 必要に応じて、 を選択し、座標形式やデータを変更します。
- 3 緯度 / 経度を入力します。
- 4 地図上で表示を選択します。

Tripadvisor

注記

Garmin は Tripadvisor 情報の正確性または適時性について責任を負いません。

ユーザーはジャンル別施設 (POI) に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

お使いのデバイスには、Tripadvisor トラベラー評価が含まれています。Tripadvisor 評価は、自動的に該当する施設リスト (レストラン、ホテル、アトラクション) の検索結果に表示されます。近くの Tripadvisor ジャンル別施設を検索して、距離または人気度に基づき並べ替えすることもできます。

Tripadvisor ジャンル別施設 (POI) を検索する

- 1 目的地検索 > Tripadvisor を選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 必要に応じて、サブカテゴリーを選択します。
そのカテゴリーに該当する、近くの Tripadvisor ジャンル別施設のリストが表示されます。
- 4 表示された関心スポットを距離または人気度でフィルタリングするには、**結果を並べ替える**を選択します(オプション)。
- 5 **Q**を選択し、検索項目を入力します (オプション)。

最近検索した位置を表示する

デバイスには、過去に検索した場所の履歴が最新の 50 件保存されています。

目的地検索 > 最近表示した項目の順に選択します。

最近検索した場所のリストを消去する

目的地検索 > 最近表示した項目 >  > 消去 > はいの順に選択します。

現在地情報を表示する

[現在地の確認] ページを使用して、現在地に関する情報を表示できます。この機能は、緊急時に 110 番や 119 番で自分のいる場所を知らせる場合に便利です。

地図で、車両を選択します。


緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する

[現在地の確認] ページを使用して、直近の病院、警察署、およびガソリンスタンドを検索できます。

- 1 地図で、車両を選択します。
- 2 病院、警察署、トラックストップ、またはガソリンスタンドを選択します。
注：サービスカテゴリーの中には、すべてのエリアでは提供されていないものもあります。
注：トラックの車両プロファイルがアクティブなとき、ガソリンスタンドの代わりにトラックストップのオプションが表示されます。
選択したサービスの場所のリストが表示され、最寄りの場所が一番上に表示されます。
- 3 位置を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ その場所までのナビゲーションを開始するには、**Go !**を選択します。
 - ・ 電話番号や場所に関するその他の詳細を表示するには、**i**を選択します。

現在地への道順を表示する

自分が現在いる位置への道順を誰かに知らせる必要がある場合、道順のリストを表示できます。

- 1 地図で、車両を選択します。
- 2  > 現在地までの道順の順に選択します。
- 3 始点を選択します。
- 4 選択を選択します。


ショートカットを追加する

[目的地検索] メニューにショートカットを追加できます。ショートカットから、位置、カテゴリー、または検索ツールを直接参照できます。

[目的地検索] メニューには 36 個までのショートカットアイコンを追加できます。


- 1 目的地検索 > ショートカットの追加の順に選択します。
- 2 アイテムを選択します。

ショートカットを削除する

- 1 目的地検索 >  > ショートカットの削除の順に選択します。
- 2 削除するショートカットを選択します。
- 3 確認のため再度ショートカットを選択します。
- 4 完了を選択します。

位置を保存する



位置を保存する

- 1 位置を検索します (カテゴリーを入力して位置を検索する, 13 ページ)。
- 2 検索結果から位置を選択します。
- 3  > 保存の順に選択します。
- 4 必要に応じて、名前を入力し、完了を選択します。
- 5 保存を選択します。

現在地を保存する

- 1 地図で、車両アイコンを選択します。
- 2 保存を選択します。
- 3 名前を入力し、完了を選択します。



保存した位置を編集する

- 1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- 2 必要に応じて、カテゴリーを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4  を選択します。
- 5  > 編集の順に選択します。
- 6 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 名前を選択します。
 - ・ 電話番号を選択します。
 - ・ カテゴリーを保存した位置に割り当てるには、カテゴリーを選択します。
 - ・ 地図上に保存した位置をマークするために使用する記号を変更するには、地図記号の変更を選択します。
- 7 情報を編集します。
- 8 完了を選択します。

保存した位置にカテゴリーを割り当てる


カスタムカテゴリーを使用して保存した位置を整理できます。

注：位置を 12 件以上保存すると、カテゴリーが [保存した位置] メニューに表示されます。

- 1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- 2 位置を選択します。
- 3  を選択します。
- 4  > 編集 > カテゴリーの順に選択します。
- 5 1 つ以上のカテゴリー名を、カンマ区切りで入力します。
- 6 必要に応じて、カテゴリーの候補を選択します。
- 7 完了を選択します。

保存した位置を削除する

注：削除された位置情報を復元することはできません。

- 1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- 2  > 削除を選択します。
- 3 削除する保存済み位置情報にチェックをして、削除 > はいを選択します。



目的地へのナビゲーション

ルート

ルートとは、現在地から1つ以上の目的地までの経路のことです。

- ・ デバイスは、ルート計算モード (ルート探索方法を変更する, 24 ページ) や回避 (遅延、有料道路、およびエリアを回避する, 25 ページ) など設定した環境設定に基づいて、目的地までの推奨ルートを計算します。
- ・ デバイスは、アクティブな車両プロファイルに適していない道路を自動的に回避します。
- ・ ユーザーは、推奨ルートを使用して目的地へのナビゲーションをすばやく開始することも、代替ルートを選択することもできます (ナビゲーションを開始する, 19 ページ)。
- ・ 使用または回避したい特定の道路がある場合は、ルートをカスタマイズできます (ルートを形成する, 24 ページ)。
- ・ ルートに複数の目的地を追加できます (ルートに場所を追加する, 24 ページ)。

ナビゲーションを開始する

- 1 目的地検索を選択し、場所を検索します (位置の検索と保存を行う, 12 ページ)。
- 2 位置を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 推奨ルートを使用してナビゲーションを開始するには、Go ! を選択します。
 - ・ 代替ルートを指定するには、 を選択し、ルートを選択します。
地図の右側に代替ルートが表示されます。
 - ・ ルートの経路を編集するには、 > ルートの編集を選択し、ルートにシェイピングポイントを追加します (ルートを形成する, 24 ページ)。

デバイスは場所までのルートを計算し、音声案内と地図上の情報によりルートを案内します (地図上のルート, 20 ページ)。ルートにある主要な道路のプレビューが地図の端に数秒間表示されます。

追加の目的地で停止する必要がある場合、ルートに場所を追加できます (ルートに場所を追加する, 24 ページ)。

地図を使用してナビゲーションを開始する

地図から場所を選択してナビゲーションを開始できます。


- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図をドラッグおよび拡大 / 縮小して、検索する範囲を表示します。
- 3 ストリート、交差点、または住所位置などのポイントを選択します。
- 4 Go ! を選択します。

帰宅する

初めて自宅へのルートを開始すると、自宅の場所の入力を求めるメッセージがデバイスに表示されます。

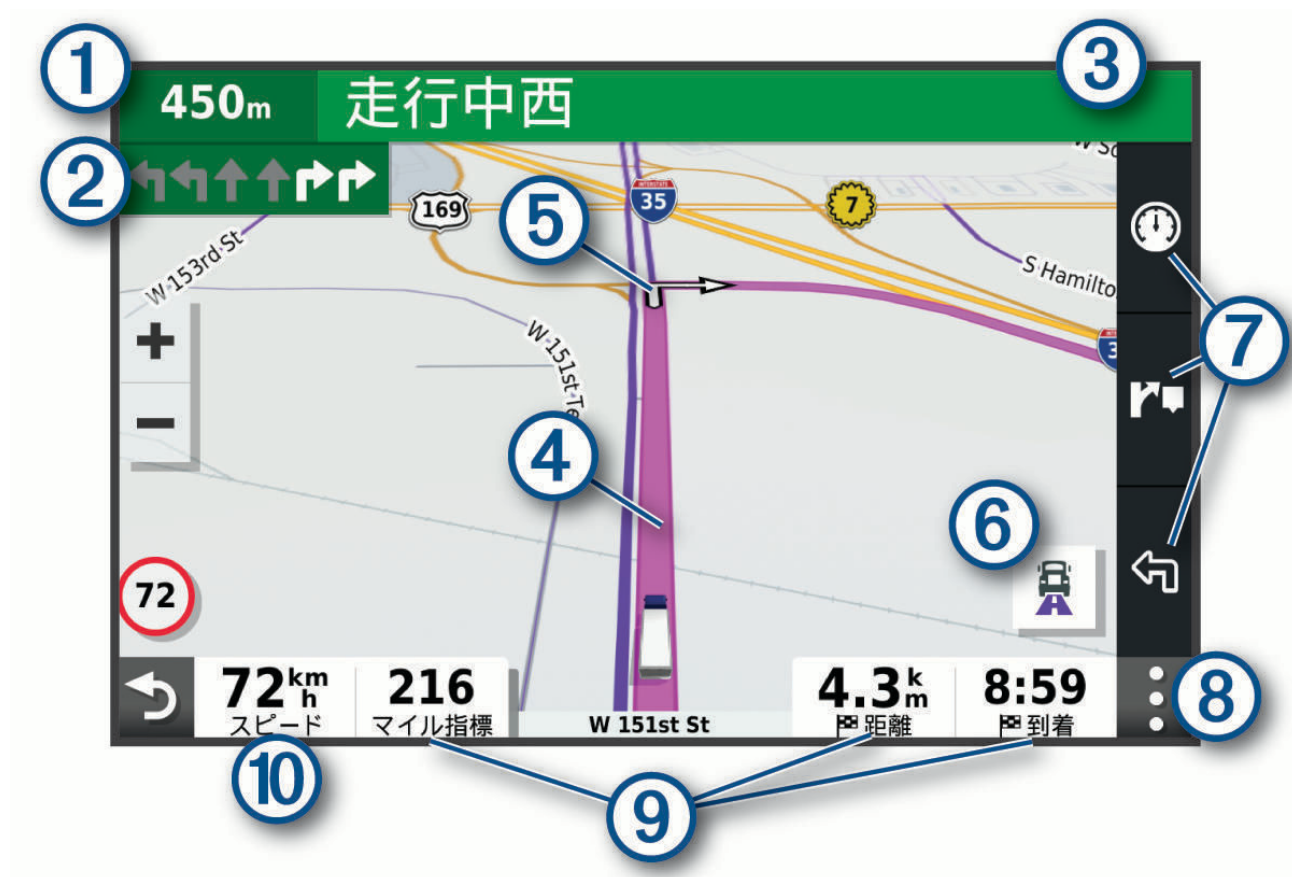
- 1 目的地検索 > 自宅への順に選択します。
- 2 必要に応じて、自宅の場所を入力します。

自宅の場所を編集する

- 1 目的地検索 >  > 自宅登録の順に選択します。
- 2 自宅の場所を入力します。

地図上のルート

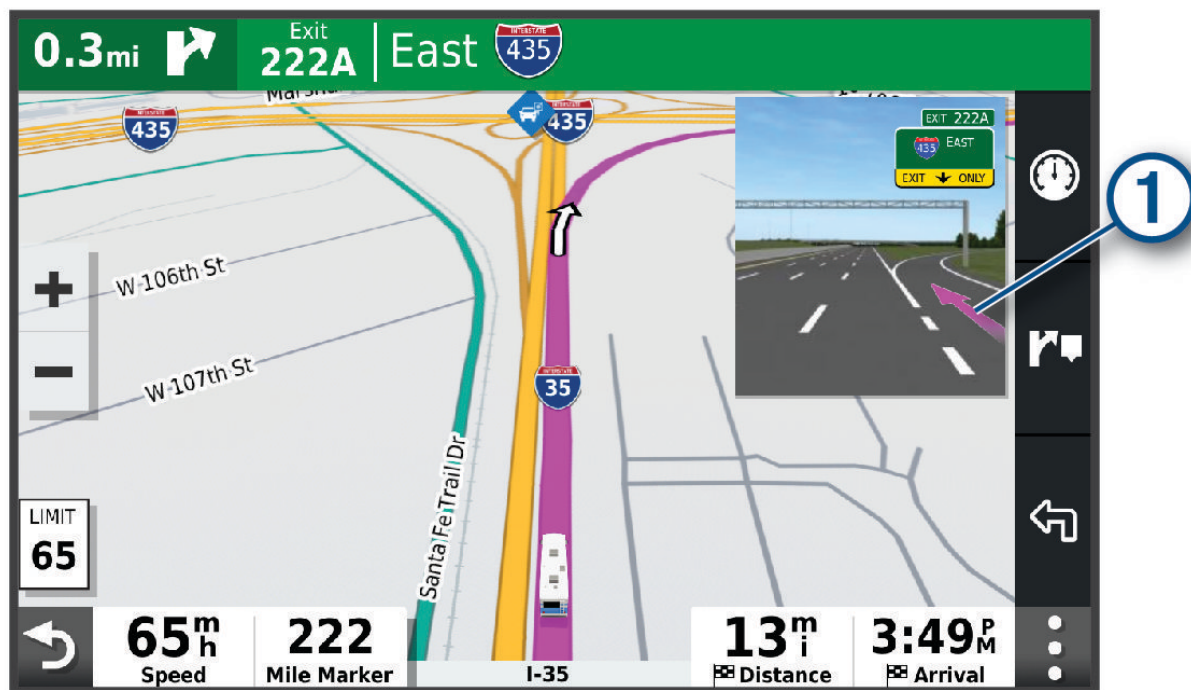
走行中、デバイスは、音声と地図上の情報で、目的地までのルートを案内します。方向転換地点や出口、またはその他のアクションに関する指示は、地図の一番上に表示されます。



①	次のアクションまでの距離。
②	ルートでの次のアクション。次の方向転換、出口、その他のアクションおよび（利用可能な場合）走行すべきレーンを示します。
③	次のアクションに関連する通りや出口の名前。
④	地図上に強調表示されたルート。
⑤	ルートでの次のアクション。地図上の矢印はこの先のアクションの場所を示します。
⑥	選択すると、地図上の人気のトラックルートが切り替わります。
⑦	地図ツールのショートカット。
⑧	地図ツール。ツールを選択すると、ルートと周辺の詳細情報を表示できます。
⑨	データフィールド。 ヒント：これらのフィールドをタッチして表示情報を変更できます（ 地図データフィールドを変更する 、31 ページ）。
⑩	車速。

アクティブ車線案内

ルートで転換地点、出口、またはインターチェンジに近づく、道路の詳細なシミュレーションがある場合は地図の横に表示されます。色付きの線 ① が方向転換する車線を示します。



地図上に人気のトラックパスを表示する


デバイスで、地図上に人気のトラックパスを強調表示することができます。これは、あなたの車両がよりアクセスしやすい道を選ぶのに役立つことがあります。

地図から、を選択します。

方向転換と方向指示を表示する

ルートのナビゲーション中に、ルートのこの先の方向転換、レーン変更、その他の方向指示を表示できます。

1 地図から、オプションを選択します。

- ・ナビゲーションする際にこの先の方向転換や方向指示を表示するには、 > **方向転換**を選択します。

地図ツールには、地図の横に次の複数の方向転換や方向指示が表示されます。ルートをナビゲーションするにつれて、このリストは自動的に更新されます。


- ・ルート全体の方向転換と方向指示の完全なリストを表示するには、地図上部のテキストバーを選択します。

2 方向転換または方向指示を選択します (オプション)。

詳細情報が表示されます。利用可能な場合は、主要な分岐点が画像で表示されます。

地図にルート全体を表示する

1 ルートのナビゲーション中に、地図上の任意の場所を選択します。

2 を選択します。

到着を計画する

ルートを開始する前に、人気のトラック目的地 (積降場やトラック駐車場など) に到着するように、ルートの終点を計画できます。独自の目的地を地図に追加することもできます。

1 **目的地検索**を選択し、場所を検索します ([位置の検索と保存を行う, 12 ページ](#))。

2 位置を選択します。


3 **到着計画**を選択します。

目的地のプレビューが地図に表示されます。人気のトラックの目的地が地図の横に表示されます。dēzl デバイスが dēzl アプリとペアリングされている場合は、BirdsEye 衛星イメージが自動的にダウンロードされます。

4 目的地を選択し、**Go !**を選択します。

目的地に到着する

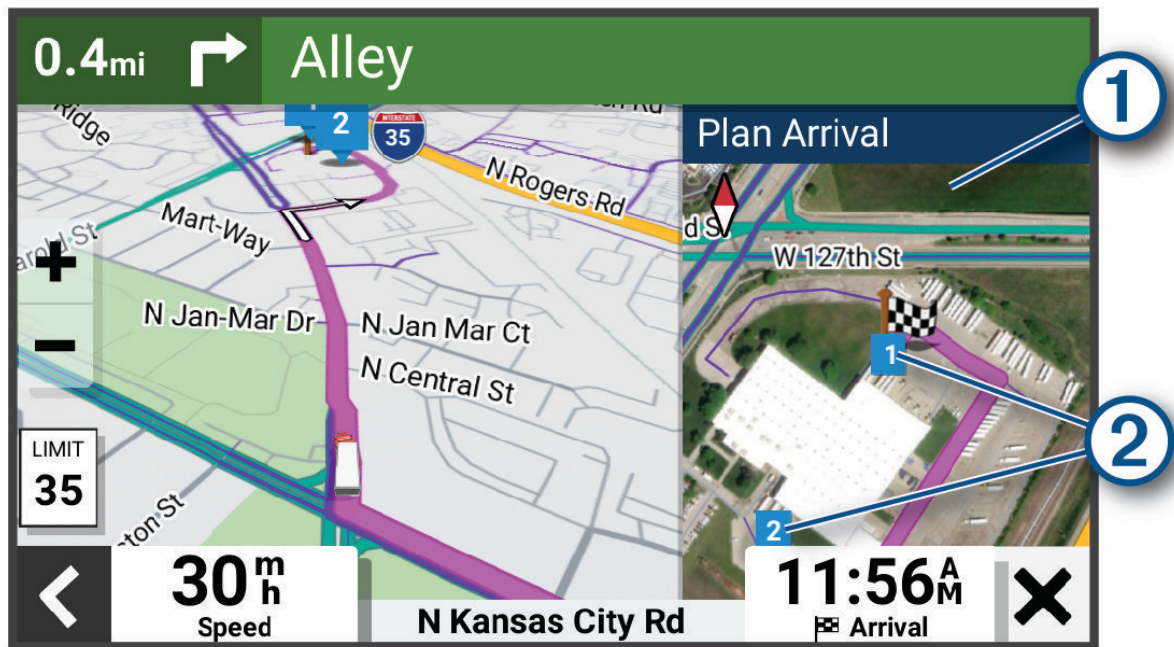
目的地に近づくと、デバイスはルートの達成に役立つ情報を提供します。

- ・は地図上の目的地の場所を示し、目的地に近づいていることを音声プロンプトがアナウンスします。
- ・一部の目的地に近づくと、デバイスが自動的に駐車場を提案します。高を選択すると、推奨駐車場の全リストを表示できます ([目的地の近くの駐車場, 23 ページ](#))。
- ・トラックの車両プロフィールを使用しているときに目的地に近づくと、デバイスは自動的にトラックの目的地 (荷積みドックやトラック駐車場など) を検索するように指示します。マップ上の推奨ポイントを選択してから、Go ! を選択して目的地まで移動できます。
- ・目的地で停車した場合、デバイスはルートを自動的に終了します。デバイスが到着を自動的に検出しなかった場合は、停止を選択してルートを終了できます。

トラックルートの完了

トラックの目的地に近づくと、駐車場や荷積みドックなど、トラックの人気の目的地を見つけるのに役立つ地図ツールが表示されます。

1 地図ツール①を選択します。



2 地図をタッチして、番号付きトラック目的地を選択します②。

3 Go!を選択します。

目的地の近くの駐車場

デバイスは、目的地の近くの駐車場所を探すのに役立ちます。一部の目的地に近づくと、デバイスが自動的に駐車場を提案します。

注：この機能は、車両プロフィールを使用している場合にのみ使用してください。トラックの車両プロフィールを使用している場合は、目的地の近くにあるトラック駐車場を検索できます([トラック駐車場を検索する, 16 ページ](#))。

1 次の中からオプションを選択します。

- デバイスが駐車場を提案したら、高を選択して、すべての推奨駐車場を表示します。

注：任意の推奨駐車場を選択すると、ルートが自動的に更新されます。

- デバイスが駐車場を提案していない場合は、目的地検索 > カテゴリー > 駐車場の順に選択し、📍 > 目的地周辺を選択します。

2 駐車場を選択し、Go!を選択します。

デバイスは、駐車場にガイドします。


アクティブルートを変更する

ルートに場所を追加する

ルートに場所を追加する前に、ナビゲーションを実行している必要があります ([ナビゲーションを開始する, 19 ページ](#))。

ルートの途中または最後に場所を追加できます。たとえば、ルートの次の目的地としてガソリンスタンドを追加できます。

ヒント：複数の目的地またはスケジュールされた経由地がある複雑なルートを作成するには、トリッププランナーを使用して、トリップの計画、スケジュール、および保存ができます ([ルートを計画する, 53 ページ](#))。


- 1 地図で  > **目的地検索** を選択します。
- 2 位置を検索します ([位置の検索と保存を行う, 12 ページ](#))。
- 3 位置を選択します。
- 4 **Go!** を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ルートの次の目的地として場所を追加するには、**次の経由地を追加**を選択します。
 - ・ ルートの最後に場所を追加するには、**最後の経由地追加**を選択します。
 - ・ 場所を追加して、ルートでの目的地の順序を編集するには、**アクティブルートに追加**を選択します。





デバイスは、追加された場所を含めるためにルートを再計算し、順番に目的地までのルートを案内します。

ルートを形成する

ルートを形成する前に、ルートを開始する必要があります ([ナビゲーションを開始する, 19 ページ](#))。


手動でルートを形成してコースを変更できます。これにより、ルートに目的地を追加せずに、特定の道路を使用するようにルートの方向を選択することや特定の地域を通過することができます。

- 1 地図で  > **ルートの編集** > **ルートを形成する** の順に選択します。

ヒント： を選択して、地図上でズームインし、より正確な場所を選択することもできます。
デバイスはルート形成モードになり、ルートを再計算して選択した場所を通過します。
- 2  >  を選択します。
- 3 必要に応じて、オプションを選択します。
 - ・ ルートにさらにシェイピングポイントを追加するには、地図上で追加の場所を選択します。
 - ・ シェイピングポイントを削除するには、シェイピングポイントを選択し、 を選択します。

迂回路を検索する


ルート上の指定した距離の迂回路または特定の道路周辺の迂回路を検索できます。これは、工事ゾーン、道路閉鎖、または走行が難しい道路条件が発生したときに役立ちます。

- 1 地図で、 > **ルートの編集** を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 距離を指定して迂回するには、**距離で迂回**を選択します。
 - ・ ルート上の特定の道路を迂回するには、**道路別迂回路**を選択します。

ルート探索方法を変更する

- 1 **設定** > **ナビゲーション** > **計算モード** の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ **時間優先** を選択すると、一番早く目的地に到達できるルートを計算しますが、走行距離は長くなることがあります。
 - ・ **距離優先** を選択すると、走行距離が短くなるようにルートを計算しますが、走行時間は長くなることがあります。

ナビゲーションを停止する

- 地図で、 > 停止を選択します。
- ホーム画面で、停止を選択します。

推奨ルートを利用する

この機能を使用する前に、1つ以上の場所を保存して、走行履歴機能を有効にする必要があります ([ナビゲーション設定, 59 ページ](#))。

myTrends™ 機能を使用すると、走行履歴、特定の曜日や時刻に基づいてデバイスが目的地を予測します。保存した位置まで数回走行すると、地図上のナビゲーションバーに予定移動時間およびトラフィック情報と共にその位置が表示されます。


位置までのルート候補を表示するには、ナビゲーションバーを選択します。

遅延、有料道路、およびエリアを回避する

ルート上の交通遅延を回避する

交通の遅延を回避する前に、トラフィック情報を受信している必要があります ([スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する, 35 ページ](#))。

デフォルトでは、デバイスは自動的にルートを最適化して交通遅延を回避します。[[トラフィック設定](#)] でこのオプションを無効にしている場合 ([トラフィック設定, 60 ページ](#))、手動で交通遅延を表示し、回避できます。

- 1 ナビゲーションの実行中に、 > トラフィックを選択します。
- 2 代替ルートを選択します (利用可能な場合)。
- 3 Go ! を選択します。

道路の回避機能

- 1 設定 > ナビゲーション > 回避の順に選択します。
- 2 ルート上で回避したい道路の種類を選択し、OK を選択します。

環境ゾーンを回避する

デバイスは、お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域を回避できます。このオプションは、アクティブな車両プロファイルにある車両タイプに適用されます ([車両プロファイル, 9 ページ](#))。

- 1 設定 > ナビゲーション > 環境ゾーンの順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - 環境ゾーンを通過する前に毎回確認するには、常に確認を選択します。
 - 環境ゾーンを常に回避するには、回避を選択します。
 - 環境ゾーンを常に許可するには、許可を選択します。

カスタム回避

カスタム回避では、道路を含む特定のエリアまたは区域を選択して回避できます。デバイスは、ルートを計算するときは、他に妥当なルートがない場合を除き、これらのエリアと道路を回避します。

道路を回避する


- 1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。
- 2 必要に応じて、回避の追加を選択します。
- 3 回避道路の追加を選択します。
- 4 回避する道路区域の始点を選択し、次へを選択します。
- 5 道路区域の終点を選択し、次へを選択します。
- 6 完了を選択します。

エリアを回避する


- 1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。
- 2 必要に応じて、回避の追加を選択します。
- 3 回避エリアの追加を選択します。
- 4 回避するエリアの左上隅を選択し、次へを選択します。
- 5 回避するエリアの右下隅を選択し、次へを選択します。
選択されたエリアが地図上に影付きで表示されます。
- 6 完了を選択します。

カスタム回避を無効にする

カスタム回避を削除せずに無効にします。






- 1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。
- 2 回避を選択します。
- 3  > 無効の順に選択します。

カスタム回避を削除する

- 1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避 >  の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - すべてのカスタム回避を削除するには、すべて選択 > 削除の順に選択します。
 - カスタム回避を 1 件削除するには、削除したいカスタム回避を選択し、削除を選択します。

地図を使用する

地図を使用してルートのナビゲーションを行うこと (地図上のルート, 20 ページ) やアクティブなルートがないときに周囲の地図を表示することができます。

- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図上の任意の場所を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - 地図をドラッグして、上下左右に回転します。
 - 地形や BirdsEye イメージなどの地図レイヤーを追加または削除するには、 を選択します。
 - ズームインまたはズームアウトするには、 または  を選択します。
 - ノースアップ表示、2D 表示、3D 表示を切り替えるには、 を選択します。
 - ルートプランナーを開くには、 を選択します (ルートプランナー, 53 ページ)。
 - ルートを開始するには、地図上の場所を選択し、Go ! を選択します (地図を使用してナビゲーションを開始する, 19 ページ)。

地図ツール

地図ツールを使用すると、地図を表示しながら情報やデバイスの機能にすばやくアクセスできます。地図ツールを有効化すると、地図の端にあるパネルに表示されます。

停止: アクティブルートのナビゲーションを停止します。

ルートの編集: 迂回したり、ルートの場所をスキップしたりできます ([アクティブルートを変更する, 24 ページ](#))。

ミュート: デバイスの音声をミュートします。

次の都市まで: アクティブルートや高速道路沿いの、次の都市およびサービスを表示します ([次の都市まで, 28 ページ](#))。

コースポイント: ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所を表示します ([この先, 27 ページ](#))。

高度: この先の高度変化を表示します。

トラフィック: ルート沿いまたはエリアの交通状況を表示します ([進行方向の交通事故を表示する, 30 ページ](#))。この機能は、一部の地域やデバイスモデルでは利用できません。

出張データ: 速度や距離など、カスタマイズできるトリップデータを表示します ([地図からトリップデータを表示する, 30 ページ](#))。

方向転換: ルートのこの先の方向転換のリストを表示します ([方向転換と方向指示を表示する, 22 ページ](#))。

スマートフォン: 接続されているスマートフォンの最新の通話を表示し、通話中に通話中オプションを表示します ([通話中オプションを使用する, 34 ページ](#))。

天気: エリアの天気状況を表示します。

Garmin eLog: Garmin eLog™ アプリからのサービス時間情報を表示します。運転中でないときに、業務ステータスを変更できます。

スマート通知: 接続しているスマートフォンからの最近のスマート通知を表示します ([スマート通知, 33 ページ](#))。

PrePass®: この先の重量検査所およびバイパス決定の通知を表示します ([PrePass®, 39 ページ](#))。

到着計画: 目的地の地図を表示して、トラックの目的地を見つけられます。



Love's: ルート上にある次の Love's Travel Stops® を表示します。

Pilot Flying J: ルート上にある次の Pilot Flying J Travel Centers™ を表示します。

休憩プランナー: 休憩リマインダーと推奨経由地を表示します。

概要地図: 地図上にルートの概要を表示します。


地図ツールを表示する

- 1 地図で  を選択します。
- 2 地図ツールを選択します。
地図ツールが地図の端にあるパネルに表示されます。
- 3 地図ツールを使い終わったら、 を選択します。

この先



コースポイントツールは、ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所についての情報を提供します。レストラン、ガソリンスタンド、サービスエリアなど、この先のジャンル別施設をカテゴリーごとに表示できます。カテゴリーをコースポイントツールに表示するようにカスタマイズできます。

この先の場所を表示する

- 1 地図から  > コースポイントを選択します。
走行中、地図ツールは道路またはルートに沿って次の場所を表示します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - 地図ツールに複数のカテゴリーが表示されている場合は、1 つのカテゴリーを選択すると、そのカテゴリーに関する周辺の場所が一覧で表示されます。
 - 地図ツールに「この先の場所」が表示されている場合は、場所を選択すると、その場所の詳細情報やそこまでのルートが表示されます。

[この先] カテゴリーをカスタマイズする


コースポイントツールで表示する場所カテゴリーを変更できます。

- 1 地図で、 > コースポイントを選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3  を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ リスト内のカテゴリーを上下に移動するには、カテゴリー名の横にある矢印を選択してドラッグします。
 - ・ カテゴリーを変更するには、カテゴリーを選択します。
 - ・ カスタムカテゴリーを作成するには、カテゴリーを選択して、**カスタム検索**を選択し、ビジネスまたはカテゴリーの名前を入力します。
- 5 保存を選択します。

次の都市まで

高速道路または高速道路を含むルートの走行中に、この先の都市に関する情報が [次の都市まで] ツールに表示されます。各都市の高速道路出口や出入口サービスまでの距離が、高速道路標識と同様に地図ツールに表示されます。

この先の都市や出入口サービスの表示

- 1 地図で、 > 次の都市までを選択します。
高速道路やアクティブルートの走行中に、この先の都市や出口に関する情報が地図ツールに表示されます。
- 2 都市を選択します。
デバイスに、選択した都市や出口にあるジャンル別施設 (ガソリンスタンド、宿泊施設、レストランなど) が表示されます。
- 3 場所を選んで、**Go !** を選択すると、ナビゲーションが開始されます。














警告およびアラート記号

警告

車両のプロファイル特性を入力しても、すべての推奨ルートでその特性が考慮されるわけではありません。また、警告アイコンが表示されない場合もあります。このデバイスではこのような制約や道路状況のすべてを把握できないため、地図データには限界があります。運転中は掲示されている道路標識と実際の道路状況を常に優先してください。

警告およびアラート記号が地図上またはルート方向指示に表示され、危険、道路状況、この先の重量検査所をアラートでお知らせします。



制約に関する警告

	車高
	重量
	軸荷重
	長さ
	幅
	トラック走行禁止
	トレーラー走行禁止
	積載品制限
	可燃物/爆発物禁止
	水質汚染物質禁止
	左折禁止
	右折禁止
	Uターン禁止

道路状況に関する警告

	接地の危険あり
	つづら折れ
	道幅減少
	急カーブ
	急な下り坂
	急な上り坂
	樹木の張り出し

アラート


	重量検査所
	トラックについては検証されていない道路

トリップ情報

地図からトリップデータを表示する

地図から、 > 出張データを選択します。

トリップデータフィールドをカスタマイズする


- 1 地図から、 > 出張データの順に選択します。
- 2 トリップデータフィールドを選択します。
- 3 オプションを選択します。
トリップデータ地図ツールに、新しいトリップデータフィールドが表示されます。

走行履歴を参照する

デバイスでは、走行した経路の記録を保持しています。

- 1 設定 > 地図および車両 > 地図レイヤーの順に選択します。
- 2 軌跡ログチェックボックスをオンにします。

トリップ情報をリセットする

- 1 地図で、スピードを選択します。
- 2 トリップ情報のデータ項目を選択します。
- 3  > フィールドのリセットを選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 先頭ページのスピードメーター以外のデータフィールドをすべてリセットするには、ルートのナビゲーションをしていないときに、**すべて選択**を選択します。
 - ・ **全データのリセット**を選択して、トリップ A と合計データをリセットします。
 - ・ 最高速度をリセットするには、**最高速度のリセット**を選択します。
 - ・ オドメーターをリセットするには、トリップ B のリセットを選択します。


進行方向の交通事故を表示する

注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。


この機能を使用するには、デバイスでトラフィックデータ ([トラフィック, 35 ページ](#))を受信している必要があります。

現在のルートや走行中の道路の進行方向にある交通事故を表示できます。



- 1 ルートのナビゲーションの実行中に、 > **トラフィック**の順に選択します。
地図の右側にあるパネルに、進行方向で発生している交通事故のうち、最も近くにあるものが表示されます。
- 2 この交通事故を選択して、追加情報を表示します。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、 > **dēzl** > **トラフィック**の順に選択します。
- 2 必要に応じて、 > **凡例**を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、 > dēzl > トラフィックの順に選択します。
- 2  > 事故の順に選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

地図をカスタマイズする

地図レイヤーをカスタマイズする

ジャンル別施設を表すアイコンや道路状況など、地図上に表示するデータをカスタマイズできます。

- 1 設定 > 地図および車両 > 地図レイヤーの順に選択します。
- 2 地図に表示したいレイヤーを選択し、**保存**を選択します。

地図データフィールドを変更する

- 1 地図からデータフィールドを選択します。
注：スピードはカスタマイズできません。
- 2 表示するデータの種類を選択します。

地図表示方法を変更する

- 1 設定 > 地図および車両 > 運転地図表示の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ **トラフィック** を選択すると地図が 2D 表示され、進行方向が常に上になるように表示されます。
 - ・ **ノースアップ** を選択すると地図が 2D 表示され、北が常に上になるように表示されます。
 - ・ **3D** を選択すると地図が 3D 表示されます。
- 3 **保存**を選択します。

ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能

⚠ 警告

運転中は通知を読んだり、操作したりしないでください。注意が散漫となり、事故が発生して重傷または死亡につながるおそれがあります。

dēzl アプリを使用すると、デバイスでスマート通知やライブ情報（ライブトラフィックデータや天気情報など）を受信することができます。

ライブトラフィックデータ: 交通事故や遅延、工事ゾーン、道路閉鎖などのリアルタイムトラフィックデータをデバイスに送信します ([トラフィック, 35 ページ](#))。

天気情報: リアルタイムで天気予報、道路状況、天気レーダーをお使いのデバイスに送信します ([天気予報を表示する, 54 ページ](#))。

スマート通知: スマートフォンの通知とメッセージをデバイスに表示します。この機能を利用できない言語もあります。

ハンズフリー通話: デバイスを使用して電話をかけたり受けたりできるほか、デバイスをハンズフリースピーカーフォンとして使用できます。選択した言語が音声コマンド機能をサポートしている場合は、音声コマンドを使用して電話をかけることができます。

位置情報をデバイスに送信: スマートフォンから位置情報をナビゲーションデバイスに送信できます。

スマートフォンとペアリングする

dēzl デバイスをスマートフォンおよび dēzl アプリとペアリングし、追加の機能を有効にし、ライブ情報にアクセスすることができます ([ライブサービス](#)、[トラフィック](#)、および[スマートフォン機能](#), 31 ページ)。

- 1 スマートフォンのアプリストアから、dēzl アプリをインストールします。
- 2 dēzl デバイスをオンにし、デバイスとスマートフォンの距離が 3 m (10 ft.) 以内になるようにします。
- 3 スマートフォンで dēzl アプリを開きます。
- 4 画面の指示に従って Garmin アカウントにサインインし、ペアリングおよびセットアッププロセスを完了します。

メインアプリダッシュボードが表示されます。デバイスは、ペアリングされると、電源がオンになって範囲内にあるときに、自動的に接続されます。

デバイスをペアリングした後のヒント

- ・ 初回のペアリング後、電源をオンにするたびに、2 つのデバイスは自動的に接続されます。
- ・ 電話がデバイスに接続されたら、音声通話を受信する準備は完了です。
- ・ 電源をオンにすると、デバイスは最後に接続した電話に接続を試みます。
- ・ また、デバイスをオンにしたとき、デバイスと自動的に接続するように、電話での設定が必要な場合があります。
- ・ 電話をかけるには、お使いの電話機の Bluetooth 設定でナビゲーションデバイスに対して連絡先共有権限を有効にする必要があります。
- ・ 使用する Bluetooth 機能が有効になっていることを確認する必要があります ([Bluetooth 機能を有効または無効にする](#), 34 ページ)。

追加 Bluetooth デバイスのペアリング

- 1 ヘッドセットまたは電話と Bluetooth デバイスの距離は 10 m (33 ft.) 以内になるようにします。
- 2 デバイス側で Bluetooth 無線機能を有効にします。
- 3 ヘッドセットまたは電話で、Bluetooth 無線機能を有効にして、他の Bluetooth デバイスに表示されるようにします。
- 4 デバイスで、**設定 > ワイヤレスネットワーク > ブルートウース**の順に選択します。
周辺にある Bluetooth デバイスのリストが表示されます。
- 5 リストからヘッドセットまたは電話を選択します。
- 6 必要に応じて、**Pair** を選択します。

dēzl アプリを使用して住所または場所に移動する

dēzl アプリを使用して、住所、企業、または興味のある場所を検索し、ナビゲーション用に dēzl デバイスに送信できます。

- 1 dēzl アプリから**目的地検索**を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 現在地の住所を検索するには、番地またはストリート名を入力します。
 - ・ 別の都市の住所を検索するには、州名、都市名、ストリート名および番地を入力します。
 - ・ 店名を検索するには、名前の一部またはすべてを入力します。
 - ・ 都市を検索するには、州名および都市名を入力します。入力すると、候補が検索フィールドの下に表示されます。
- 3 検索結果の候補から選択します。
アプリで、地図上に場所が表示されます。
- 4 ナビゲーションを開始するには、**Go !** を選択します。

dēzl デバイスが選択した場所へのナビゲーションを開始し、その場所が、目的地検索メニューの最近の検索に追加されます。

スマート通知

デバイスが dēzl アプリに接続されているときは、dēzl デバイスのスマートフォンから、テキストメッセージ、着信、カレンダーの予定のような通知を表示できます。

通知を受信する

⚠ 警告

運転中は通知を読んだり、操作したりしないでください。注意が散漫となり、事故が発生して重傷または死亡につながるおそれがあります。

この機能を使用する前に、dēzl アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります。

デバイスがスマートフォンから通知を受信すると、ほとんどのページからポップアップが表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

注：地図を表示している場合、通知は地図ツールに表示されます。

- ・ 通知を無視するには、**OK** を選択します。

ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままです。

- ・ 通知を表示するには、**確認** を選択します。

- ・ 通知を聞くには、**確認** > **再生** の順に選択します。

デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。

- ・ 電話からその通知を却下するなど追加アクションを実行するには、**確認** を選択してからオプションを選択します。

注：追加アクションは、一部の通知タイプでのみ利用でき、通知を生成したアプリでサポートされている必要があります。

ハンズフリー通話

注：ほとんどのスマートフォンとヘッドセットはサポートされていて使用できますが、特定のスマートフォンまたはヘッドセットの互換性は保証されていません。お使いの携帯電話では、一部の機能が利用できない場合があります。





Bluetooth 無線技術を使用すると、デバイスを互換性のあるスマートフォンとワイヤレスヘッドセットまたはヘルメットに接続し、ハンズフリーデバイスとして使用することができます。互換性を確認するには、

www.garmin.com/bluetooth にアクセスしてください。

電話をかける

- 1  を選択します。

- 2 次の中からオプションを選択します。


- ・ 電話をかけるには、 を選択してから電話番号を入力し、 を選択します。
- ・ 最近電話をかけた、または最近着信があった電話番号に電話するには、 を選択し、電話番号を選択します。
- ・ 電話帳にある連絡先に電話をかけるには、 を選択し、次に連絡先を選択します。



電話を受ける

電話がかかってきたときには、**回答**または**却下**を選択します。




通話中オプションを使用する

通話中オプションは、電話に出ると表示されます。一部のオプションはお使いの電話に対応していない可能性があります。

ヒント：通話中オプションページを閉じた場合は、メインメニューから  を選択してもう一度開くことができます。



- 電話会議を設定するには、発信者 ID を選択し  を選択します。
- 音声の出力先を切り替えるには、 を選択します。

ヒント：この機能は、Bluetooth の接続を解除して通話を継続する場合やスピーカーでなく電話で話したい場合に使用します。

- ダイヤルパッドを使用するには、発信者 ID を選択し  を選択します。
ヒント：この機能を使用して、留守番電話などの自動システムを使用できます。
- マイクをミュートするには、 を選択します。
- 電話を切るには、 を選択します。

電話番号をプリセットとして保存する

連絡先を 3 つまでプリセットとしてダイヤルパッドに保存できます。これにより、自宅の電話番号、家族、または頻繁に連絡する連絡先にすばやく電話をかけることができます。

-  >  の順に選択します。
- プリセット 1 などのプリセット番号を保持します。
- 連絡先を選択します。

ワイヤレスヘッドセット

デバイスは、音声ナビゲーションプロンプトを Bluetooth 対応ワイヤレスヘッドセットに送信できます。


Bluetooth 機能を有効または無効にする

ペアリングしたスマートフォンの通話、メディアオーディオ、ライブサービスなどの Bluetooth 機能を有効または無効にできます。

- 設定 > ワイヤレスネットワーク > ブルートウースの順に選択します。
- 電話名を選択します。
- 有効または無効にする機能を選択します。

アプリの通知を表示または非表示にする (Android™)

dēzl アプリを使用して、dēzl デバイスに表示するスマートフォン通知の種類をカスタマイズできます。

- スマートフォンで dēzl アプリを開きます。
-  > スマート通知の順に選択します。
スマートフォンアプリのカテゴリのリストが表示されます。
- カテゴリを選択して、そのタイプのアプリの通知を有効または無効にします。

Apple® デバイスの通知カテゴリを表示または非表示にする

Apple デバイスに接続されている場合は、カテゴリを表示または非表示にして、dēzl デバイスに表示される通知をフィルタリングできます。

-  > ツール > スマート通知 >  の順に選択します。
- 表示する各通知の横にあるチェックボックスをオンにします。


Bluetooth デバイスの取り外し

ペアリングされているデバイスのリストから削除しないで、Bluetooth デバイスを一時的に取り外すことができます。Bluetooth デバイスは、今後も dēzl デバイスに自動的に接続できます。

- 1 設定 > ワイヤレスネットワーク > Bluetooth の順に選択します。
- 2 接続を解除するデバイスを選択します。
- 3 OK を選択します。

ペアリングした Bluetooth デバイスを削除する

ペアリングした Bluetooth デバイスを削除して、今後自動的に dēzl デバイスに接続できないようにすることができます。ペアリングしたスマートフォンを削除した場合も、すべての同期された電話帳の連絡先および通話履歴が dēzl デバイスから削除されます。

- 1 設定 > Bluetooth を選択します。
- 2 Bluetooth デバイス名の横の  > 破棄を選択します。

ペアリングした電話を削除する

ペアリングした電話とのペアリングを解除して、今後自動的にデバイスに接続できないようにできます。

- 1 設定 > Bluetooth > ブルートウースの順に選択します。
- 2 電話を選択して、破棄を選択します。

トラフィック

注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

お使いのデバイスは、この先の道路やルート上の渋滞に関する情報を提供できます。アクティブルートで大きな交通遅延状態が発生した場合は、ルートの計算時に渋滞を回避して、目的地への新しいルートを発見するようにデバイスを設定できます (トラフィック設定, 60 ページ)。交通渋滞地図を使用すると、地域の交通遅延の地図を参照できます。

交通情報を提供するには、デバイスがトラフィックデータを受信する必要があります。

- すべての製品モデルで、dēzl アプリを使用してトラフィックデータを受信できます (サブスクリプション無料) (スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する, 35 ページ)。

トラフィックデータを利用できない地域もあります。トラフィック情報を利用できる地域については、garmin.com/traffic を参照してください。



スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する

デバイスは、dēzl アプリを実行しているスマートフォンに接続されているときに、サブスクリプション無料のトラフィックデータを受信できます。



- 1 デバイスを dēzl アプリに接続します。
- 2 dēzl デバイスで、設定 > トラフィック > トラフィックの順に選択し、Garmin Live Traffic オプションが選択されていることを確認します。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、 > dēzl > トラフィックの順に選択します。
- 2 必要に応じて、 > 凡例を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、 > **dēzl** > トラフィックの順に選択します。
- 2  > 事故の順に選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

車両およびドライバーツール

休憩の計画

注記

このデバイス自体は、FMCSA (Federal Motor Carrier Safety Administration) 規則の登録証記録要件の承認された代替にはなりません。ドライバーは、連邦および州により定められたサービス時間の要件をすべて遵守する必要があります。Garmin eLog 準拠の電子ロギングデバイス (ELD) と統合すると、このデバイスにより、自動車輸送業者はサービスロギングおよび休憩要件の時間を順守できます。詳細や Garmin eLog デバイスの購入については、garmin.com/elog を参照してください。

休憩の計画機能を有効にすると、デバイスは推奨休憩時間と運転時間制限の 1 時間前に通知し、ルート上の休憩場所を提案します。この機能を使用すると、労働時間を記録できるため、安全規制を遵守するのに役立ちます。

注：車両プロファイルを使用している場合は、休憩の計画機能を使用できません。

推奨の休憩をとる


休憩の時間になると、デバイスは通知し、推奨の休憩場所 POI を表示します。

推奨の休憩場所のリストから POI を選択します。

デバイスは休憩場所をルート上の次の目的地として追加します。

休憩タイマーを開始する

車両が 30 秒間で少なくとも 8 kph (5 mph) を移動すると、休憩タイマーが自動的に開始します。タイマーはいつでも手動で開始できます。

- 1 地図から、 > 休憩プランナーを選択します。
- 2 **タイマーの開始**を選択します。

休憩タイマーの一時停止とリセット

休憩タイマーは、車両が 3 分以上停止すると自動的に一時停止します。タイマーは、トラックストップでの駐車や停車など、短時間の停止のために手動で一時停止できます。運転の最後には、タイマーを手動でリセットできます。

- 1 **タイマーの停止**を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ タイマーを一時停止するには、**一時停止**を選択します。
 - ・ タイマーを停止してリセットするには、**リセット**を選択します。

運転時間を調整する

勤務時間の記録に正確に一致するように、総運転時間を調整できます。

- 1 休憩プランナー機能を使用している間は、**総運転時間**を選択します。
- 2 総運転時間を入力します。
- 3 **保存**を選択します。

1 日の制限運転時間を調整する

1 日の制限運転時間は、地域の法的要件に対応するように調整できます。

注：この機能を利用できない地域もあります。

- 1 休憩の計画機能を使用している間は、**1 日の運転時間**を選択します。
- 2 地域での 1 日の制限運転時間を選択します。
- 3 **保存**を選択します。


IFTA

注：この機能を利用できない地域もあります。



この機能を使用する前に、トラックの車両プロファイルをアクティブにする必要があります。

燃料購入データや走行距離数など、International Fuel Tax Agreement (IFTA) ドキュメントに必要なデータを記録できます。

燃費データを入力する



- 1  > **dézl** > IFTA > **ガソリンスタンド** の順に選択します。
- 2 1 ガロンあたりの燃料価格を入力します。
- 3 **使用燃料**フィールドを選択します。
- 4 購入した燃料の金額を入力します。
- 5 必要に応じて、**燃料タイプ**を選択します。
 - ・ 量をリットル単位で記録するには、**ガロン** > **リットル** > **保存**を選択します。
 - ・ 量をガロン単位で記録するには、**リットル** > **ガロン** > **保存**を選択します。
- 6 必要に応じて、**税込み**チェックボックスをオンにします。
- 7 **次へ**を選択します。
- 8 給油したガソリンスタンドを記録するオプションを選択します。
 - ・ リストから近くのカソリンスタンドを選択します。
 - ・ テキストフィールドを選択し、ガソリンスタンド名と住所を入力します。
- 9 燃料購入者を選択します。

燃費データを編集する





- 1  > **dézl** > IFTA > **燃料履歴** の順に選択します。
- 2 必要に応じて、車両プロファイルを選択します。
- 3 必要に応じて、期間 (四半期) を選択します。
- 4 燃費記録を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 情報を編集するには、フィールドを選択します。
 - ・ 記録を削除するには、を選択します。

管轄機関の概要を表示およびエクスポートする

管轄機関の概要には、各四半期中に車両が運行した州または地方ごとにデータが一覧表示されます。管轄機関の概要を利用できない地域もあります。

- 1  > **dézl** > IFTA > **管轄機関の概要** の順に選択します。
- 2 必要に応じて、トラックを選択します。
- 3 必要に応じて、期間 (四半期) を選択します。
- 4 管轄機関の概要をエクスポートするには、 > **エクスポート** > **OK** の順に選択します。
概要は.csv ファイルにエクスポートされ、デバイスの Reports フォルダに保存されます。

トリップレポートを編集およびエクスポートする

- 1 メインメニューで  > **dēzl** > IFTA > トリップレポートの順に選択します。
- 2 必要に応じて、トラックを選択します。
- 3 必要に応じて、期間（四半期）を選択します。
- 4 レポートを選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ レポートを削除するには、 > **削除**の順に選択し、チェックボックスをオンにします。
 - ・ レポートを組み合わせるには、 > **組み合わせ**の順に選択し、チェックボックスをオンにします。
 - ・  > **エクスポート** > **OK**の順に選択します。レポートは.csv ファイルにエクスポートされ、デバイスの **Reports** フォルダに保存されます。

エクスポートされた管轄機関の概要およびトリップレポートを表示する


注記

目的がわからないファイルは削除しないでください。デバイスメモリには重要なシステムファイルが保存されています。これらのファイルを削除しないでください。



- 1 デバイスをコンピュータに接続します。
- 2 コンピュータのファイルブラウザで、デバイス内蔵ストレージを参照して、**Reports** フォルダを開きます。
- 3 IFTA フォルダを開きます。
- 4 .csv ファイルを開きます。

サービス履歴をログに記録する

車両がサービスまたは保守を受けるときに、日付およびオドメーターの測定値をログに記録することができます。デバイスにはサービスカテゴリーがいくつか用意されています。また、カスタムカテゴリーを追加することもできます（「[サービスカテゴリーを追加する](#), 38 ページ」）。



- 1  > ツール > サービス履歴の順に選択します。
- 2 サービスカテゴリーを選択します。
- 3 レコードの追加を選択します。
- 4 オドメーターの測定値を入力し、次へを選択します。
- 5 コメントを入力します（省略可）。
- 6 完了を選択します。

サービスカテゴリーを追加する



- 1  > ツール > サービス履歴の順に選択します。
- 2  > カテゴリーの追加の順に選択します。
- 3 カテゴリー名を入力してから、完了を選択します。

サービスカテゴリーを削除する



サービスカテゴリーを削除すると、そのカテゴリーに含まれるサービスの記録もすべて削除されます。

- 1  > ツール > サービス履歴の順に選択します。
- 2  > カテゴリーの削除の順に選択します。
- 3 削除するサービスカテゴリーを選択します。
- 4 削除を選択します。

サービスカテゴリの名前を変更する


- 1  > ツール > サービス履歴の順に選択します。
- 2 名前を変更するカテゴリを選択します。
- 3  > カテゴリの名前変更の順に選択します。
- 4 名前を入力し、完了を選択します。

サービスの記録を削除する

- 1  > ツール > サービス履歴の順に選択します。
- 2 サービスカテゴリを選択します。
- 3  > レコードの削除の順に選択します。
- 4 削除するサービスの記録を選択します。
- 5 削除を選択します。

サービスの記録を編集する

コメント、オドメーターの測定値、およびサービスの記録日を編集できます。

- 1  > ツール > サービス履歴の順に選択します。
- 2 カテゴリを選択します。
- 3 フィールドを選択します。
- 4 新しい情報を入力して、完了を選択します。

PrePass[®]

注記

Garmin は、PrePass アプリによって提供される情報の正確性または適時性について責任を負いません。

注：この機能を使用するには、アクティブな PrePass アカウントが必要です。

PrePass アプリを使用すると、運転者はこの先の重量検査所での商用車の安全性、認証情報、重量を確認できます。dēzl デバイス(dēzl アプリ搭載)と PrePass アプリをペアリングすると、この先の重量検査所の通知を dēzl デバイスで受信できます。

注：この機能は、米国でのみ使用できます。

ロイヤルティプログラム

dēzl デバイスでは、Love's Travel Stops および Pilot Flying J Travel Centers を含む米国の一部の旅行代理店から、ロイヤルティプログラムにアクセスできます。dēzl デバイスのロイヤルティプログラムアプリを使用して、報酬ポイントの残高やその他のロイヤルティプログラム情報を確認できます。ロイヤルティプログラムの機能を有効にするには、dēzl アプリでロイヤルティプログラムアカウントにサインインします。

注：この機能は、米国でのみ使用できます。

Garmin eLog


The Garmin eLog adapter enables a motor carrier to comply with FMCSA Electronic Logging Device (ELD) regulations. When the dēzl device is paired with the Garmin eLog adapter, the dēzl device and the Garmin eLog adapter together provide a complete ELD solution without the need for an additional smartphone or mobile device. You can use your dēzl device to record and view hours of service information, change your duty status, create inspection reports, and more.

The Garmin eLog adapter is not available in all areas. For more information, or to purchase a Garmin eLog adapter, go to garmin.com/elog.

Setting Up Your Garmin eLog Adapter

NOTE: If you need to transfer Garmin eLog data from another device to your dēzl device, you must import the data during the setup process. You should create a data backup from your previous device before you start setting up the Garmin eLog adapter on your dēzl device ([Transferring Garmin eLog Data from Another Device, page 40](#)).

You must set up and pair your Garmin eLog adapter with the Garmin eLog app in order to be in compliance with FMCSA ELD regulations. For more information about installing the Garmin eLog adapter in your vehicle, see the Garmin eLog Owner's Manual at garmin.com/manuals/elog.

- 1 On your dēzl device, open the  Garmin eLog app.
- 2 Follow the instructions in the app to set up and configure the Garmin eLog system, administrator account, and driver profiles.

NOTICE

The administrator account is critical for some app functions. Choose an administrator password you can remember, and do not lose the password. The administrator password cannot be recovered without clearing all app data, which causes all recorded Garmin eLog data to be deleted.

NOTE: Until you complete the setup process, the Garmin eLog device has limited functionality and is not compliant with FMCSA ELD regulations.

Transferring Garmin eLog Data from Another Device

If you have previously used your Garmin eLog adapter with another device, you can transfer the Garmin eLog app data from the previous device to your dēzl device. You must complete this transfer during the initial setup.

- 1 From the Garmin eLog app on your previous device, create a data backup ([Backing Up Data, page 40](#)).
- 2 While setting up your Garmin eLog adapter with your dēzl device, restore the data backup ([Restoring Data, page 40](#)).

Backing Up Data


You can back up your recorded data to a USB storage device. You should back up regularly to help prevent data loss. This is also useful when you need to transfer data to another device.

- 1 From the Garmin eLog app, select **Settings > Back Up Data**.
- 2 Insert a USB storage device into the USB port on the Garmin eLog adapter.
The light ring on the adapter glows green and plays a tone when it is ready to back up data.
- 3 Select **Back Up Data**.

Restoring Data

You can restore backed up data from a USB storage device. This can be useful when transferring Garmin eLog app data from another device.

NOTE: You can restore backed up data only while you are setting up the Garmin eLog app.

- 1 Open the  Garmin eLog app to start the setup process.
- 2 Follow the on-screen instructions to install the Garmin eLog adapter in the vehicle diagnostic port and complete the pairing process.
- 3 Select **Restore from Backup**.
- 4 Insert a USB storage device containing backup files into the USB port on the Garmin eLog adapter.
The light ring on the adapter glows green and plays a tone when it is ready to restore data.
- 5 Select a backup file.
- 6 Select **Restore**.

Daily Operation Guidelines

The following points are guidelines to follow when using the Garmin eLog system. Your motor carrier may have different operation requirements. Follow your motor carrier's recommendations for daily operation.

- Verify the dēzl is securely mounted in the vehicle and its screen is visible from a normal seated position.
- Verify Bluetooth wireless technology and location services are enabled on your device at all times while using the Garmin eLog adapter.
- Verify the Garmin eLog app is running and the Garmin eLog adapter is secured to the vehicle diagnostic port before starting the vehicle.
- Log in to the Garmin eLog app at the start of each day.
- Review and claim all logs recorded for an unidentified driver, if applicable.
- At the end of each work day, log out of the Garmin eLog app after turning off the engine.
- Certify your records, and submit them to your motor carrier at the end of each day ([Certifying Daily Logs, page 46](#)).

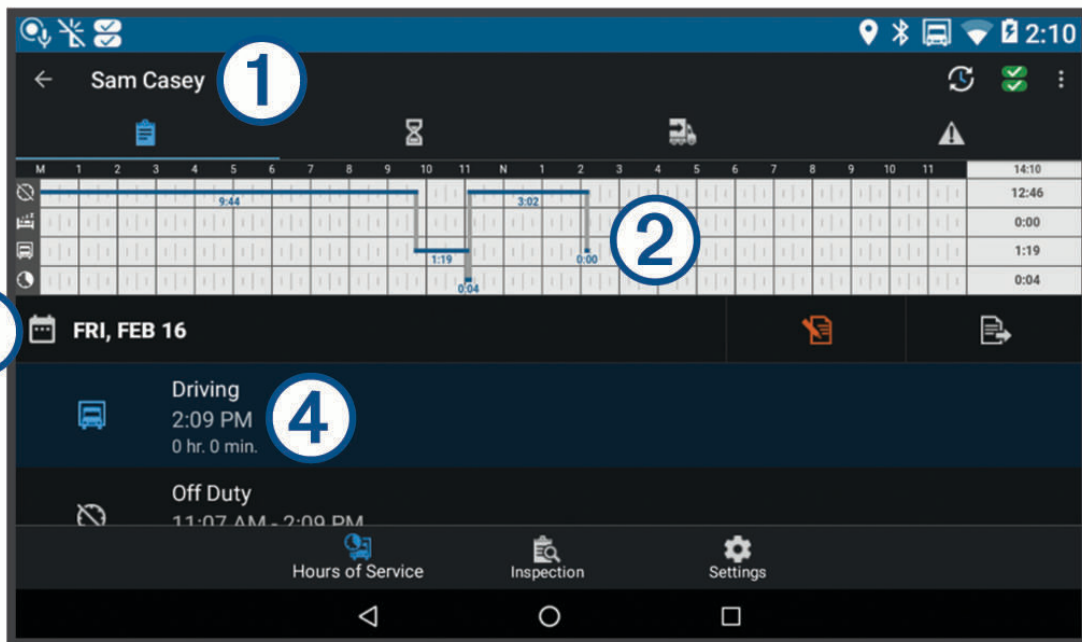
Starting a Drive

















Each time you drive your vehicle, you should complete these actions to ensure your hours of service information is recorded correctly.

- 1 Verify the Garmin eLog adapter is secured to the vehicle diagnostic port.
For more information about installing the Garmin eLog adapter in your vehicle, see the Garmin eLog Owner's Manual at garmin.com/manuals/elog.
- 2 Open the Garmin eLog app, and log in as the driver.
- 3 Start your vehicle.
- 4 Before you start driving, change your duty status in the Garmin eLog app.


The Garmin eLog adapter syncs with the Garmin eLog app and records ELD Records of Duty Service (RODS) automatically.

Garmin eLog App Overview

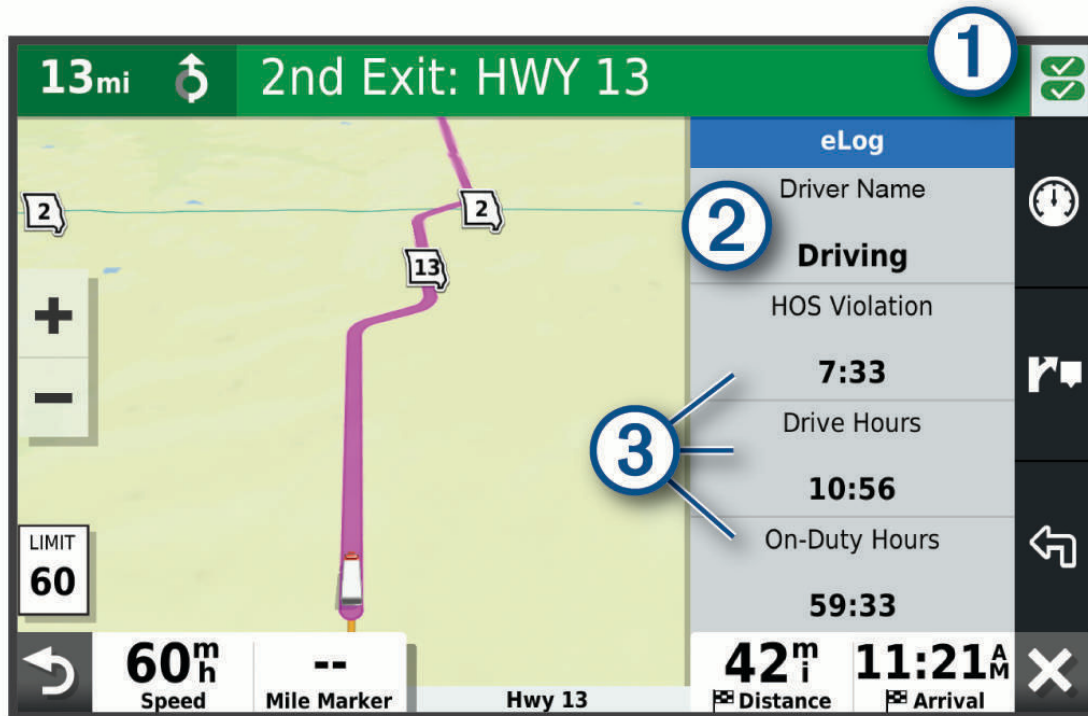


	The name of the active driver.
	Select to change duty status.
	Diagnostic and malfunction indicator. Select to view detailed information about diagnostic or malfunction alerts (Viewing Diagnostics and Malfunctions, page 49). NOTE: The diagnostic and malfunction indicator also appears in the status bar or near the top of every screen on your dēzl device.
	Select to record adverse conditions, create a Records of Duty Status (RODS) report, or log out.
	Select to view a chart of your hours of service information.
	Select to view a summary of currently available on-duty hours.
	Select to review log information.
	Select to view a full-screen chart of your service hours.
	Select to review logs for a different day.
	Select to certify your logs for the selected day.
	Select to submit a 24-hour log to your motor carrier.
	A record of your status for the recorded time period. Select to edit status information and adjust the time.
	Select to view hours of service information.
	Select to manage trailer and shipment information or to create a driver vehicle inspection report.
	Select to view inspection reports and transfer reports to a roadside inspector.
	Select to view additional system settings.

Garmin eLog Map Tool Overview

The Garmin eLog map tool appears on the navigation map automatically while your device is connected to a Garmin eLog adapter. If you close the map tool, you can open it manually by selecting  > **Garmin eLog** from the map.

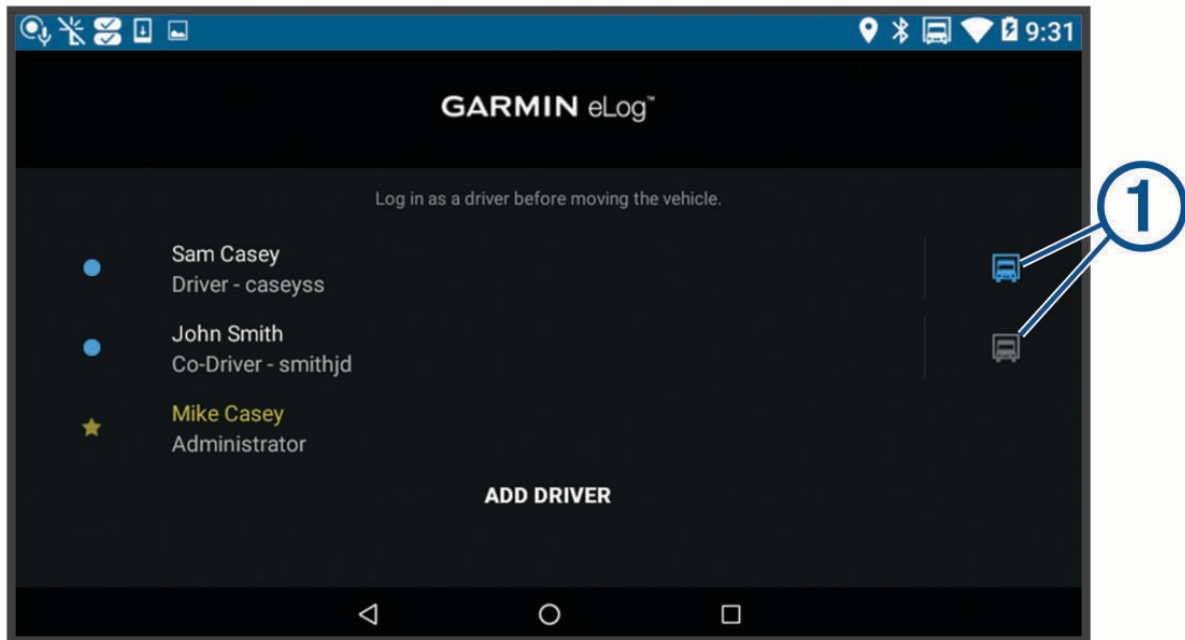
As you drive, the device displays your duty status and hours of service information in the Garmin eLog map tool.



- ① Diagnostic and malfunction indicator. Select to view detailed information about diagnostic or malfunction alerts ([Viewing Diagnostics and Malfunctions, page 49](#)).
- ② Driver name and duty status. Select to change the driver's duty status ([Changing Duty Status, page 45](#)).
NOTE: You cannot change your duty status while driving.
- ③ Current remaining drive hours. Select to view detailed drive hours information in the Garmin eLog app.

Driving in a Team

If you are driving in a team, you can switch between active drivers at any time. Each driver must log in to the Garmin eLog app before they can be set as the active driver.




From the Garmin eLog app, select the icon ① next to the user who should be listed as the active driver.

Changing Duty Status

For the most accurate records, you must change your duty status in the Garmin eLog app every time you change your driving status, such as when you start driving, take a break, switch drivers, or change the type of driving you are doing. The Garmin eLog adapter automatically switches to driving status when the vehicle's diagnostic port reports a speed greater than or equal to five miles per hour. The vehicle is stopped when the diagnostic port reports a speed of zero miles per hour.

NOTE: The vehicle must be stopped to change duty status. You cannot manually change duty status while you are driving.

1 Select an option:

- From the Garmin eLog app, select .
- From the Garmin eLog map tool, select the driver name.

2 Select an option:

NOTE: The Personal Conveyance and Yard Moves options are available only if the administrator has enabled them for your driver profile ([Editing a Driver Profile, page 51](#)).



- If you are on duty, select **On Duty**.
- If you are off duty, select **Off Duty**.
- If you are on duty and driving, select **Driving**.
- If you are moving to the sleeper berth, select **Sleeper Berth**.
- If you are using the vehicle for personal conveyance, select **Personal Conveyance**.
- If you are moving the vehicle within the yard, select **Yard Moves**.

Editing a Duty Status Record

You can update individual duty status entries to make corrections or updates to your duty status history as allowed by FMCSA regulations. This can be useful if you forget to change your duty status.

- 1 From the Garmin eLog app, select the duty status record for the affected time period.
- 2 Select **Duty Status**.
- 3 Select the correct duty status for the time period.
- 4 If necessary, update the start and end times for the duty status entry.
- 5 If necessary, enter the location where this duty status was active.
- 6 Enter an annotation describing the reason for the change.
- 7 Select **Save**.

Viewing Hours of Service

- 1 From the Garmin eLog app, select **HOS**.
- 2 Select an option:
 - To view a chart of your hours of service information, select .
 - TIP:** You can select the chart to view a larger image of your information.
 - To view a list of remaining drive hours, select .


Recording Adverse Conditions

If you require a time extension because of adverse conditions, you can add a two-hour extension to your hours for the day.

From the Garmin eLog app, select  > **Record Adverse Conditions** > はい.


Reviewing Logs

The Garmin eLog app keeps track of logs that may require review, including logs that have been edited or logs that exist for an unidentified driver. When a driver logs in, the app prompts them to review logs that contain an unidentified driver, if any are available. Drivers are responsible for reviewing and claiming logs, if applicable.

- 1 Select **HOS** > .
- 2 Select a log.
- 3 Select an option:
 - If the log applies to you and your hours of service, select **Accept**.
 - If the log does not apply to you, select **Decline**.


Certifying Daily Logs

After you are finished driving for the day, you should certify your daily log. If you update your duty status after certifying it, you must certify it again.

From the Garmin eLog app, select  > **Agree**.


Submitting a Daily Log

You can submit a daily log to your motor carrier.

- 1 From the Garmin eLog app, select .
- 2 Select an option to share your exported log.


Exporting and Saving a Record of Duty Status (RODS) Report

You can create a RODS report so you or your motor carrier can open your records of duty status outside of the Garmin eLog app.

- 1 From the Garmin eLog app, select  > **Create RODS Report**.
- 2 If necessary, select **Create Additional Graph Grid Report** to include a graph grid in your RODS report.
- 3 Select an option:
 - To save the report to the internal storage of your dēzl device, select **Save Report**.
 - To export the report to email, select **Export Report**.

Recording Trailers and Shipments

You can use the Garmin eLog app to keep records of trailers and shipments.

- 1 Select **Vehicle** > .
- 2 Select an option:
 - To add a trailer, select **Add Trailer**.
 - To add a shipment, select **Add Shipment**.
- 3 Enter the trailer number or shipping document number.

Roadside Inspection

Viewing Inspection Information


An authorized safety official may ask to view all information recorded by the Garmin eLog system for the current 24-hour period and any of the previous seven consecutive days. You can view this information on the Garmin eLog app at any time.

From the Garmin eLog app, select **Inspection**.

Transferring Data to an Inspector Using Web Services

Before you can use this feature, you must be connected to a wireless network.

You can submit your RODS report to the FMCSA over the web.


- 1 From the Garmin eLog app, select **Inspection**.
- 2 Select  > はい.
- 3 If necessary, enter an annotation.
- 4 Select **Web Services**.
- 5 Enter your email address, and select **Send Report**.

An email confirmation with your RODS report is sent to the email provided, and the report is submitted to the FMCSA.

Transferring Data to an Inspector Using Email

Before you can use this feature, you must be connected to a wireless network.


You can submit your RODS report to the FMCSA by sending an email.

- 1 From the Garmin eLog app, select **Inspection**.
- 2 Select  > はい.
- 3 If necessary, enter an annotation.
- 4 Select **Email**.
- 5 Enter your email address, and select **Send Report**.

An email confirmation with your RODS report is sent to the email provided, and the report is submitted to the FMCSA.

Transferring Data to an Inspector Using a USB Device


You can transfer data to a USB mass storage device to provide it to an authorized safety official. The Garmin eLog adapter supports USB mass storage devices formatted using the FAT32 file system.

- 1 From the Garmin eLog app, select **Inspection**.
- 2 Select  > はい.
- 3 If necessary, enter an annotation.
- 4 Select **USB**.
- 5 Connect a USB mass storage device to the USB port on your Garmin eLog adapter.
The adapter glows green when it is ready to send the inspection report.
- 6 Enter your password.
- 7 Select **Send to USB Device**.
The Garmin eLog app notifies you when the transfer is complete.
- 8 Remove the USB mass storage device from the adapter.

Transferring Data to an Inspector Using Bluetooth Wireless Technology

The inspector's device must support the Bluetooth Personal Area Networking (PAN) profile and must be able to connect to FMCSA Web Services to complete transfers using Bluetooth wireless technology. Ensure that Bluetooth wireless technology and a Wi-Fi hotspot are enabled on the inspector's mobile device.

The Garmin eLog device uses the inspector's mobile device as a network access point to send inspection information to FMCSA web services.

- 1 From the Garmin eLog app, select **Inspection**.
- 2 Select  > はい.
- 3 If necessary, enter an annotation.
- 4 Select **Bluetooth**.
- 5 Select **Enable Pairing Mode**.
- 6 Follow the on-screen instructions in the app to pair the Garmin eLog adapter with the inspector's mobile device.

The inspection report transfers automatically after the pairing process is complete.

Diagnostics and Malfunctions

The Garmin eLog app records malfunctions and diagnostic events when the app detects critical functions that do not conform to Federal Motor Carrier Safety Administration (FMCSA) specifications. When a malfunction is detected, the driver and motor carrier are subject to responsibilities as directed by FMCSA guidelines.

Driver Responsibilities





- The driver must note the malfunction of the ELD and provide written notice of the malfunction to the motor carrier within 24 hours.
- The driver must reconstruct the Record of Duty Status (RODS) for the current 24-hour period and the previous 7 consecutive days, and record the records of duty status on graph-grid paper logs that comply with 49 CFR 395.8, unless the driver already has the records or retrieves them from the ELD.
- The driver must continue to manually prepare RODS in accordance with 49 CFR 395.8 until the ELD is serviced and returned to a compliant status.

Motor Carrier Responsibilities

- The motor carrier must correct, repair, replace, or service the malfunctioning ELD within eight days of discovering the condition or a driver's notification to the motor carrier, whichever occurs first.
- The motor carrier must require the driver to maintain a paper RODS record until the ELD is back in service.

Viewing Diagnostics and Malfunctions

If the Garmin eLog adapter detects a diagnostic event or malfunction, an alert and an indicator appear in the app. A diagnostic and malfunction indicator also appears in the status bar or near the top of every screen.

	No diagnostic events or malfunctions are detected.
	A diagnostic event was detected.
	A malfunction was detected.
	Diagnostic events and malfunctions were detected.

You can view information about these alerts at any time. This can be useful for correcting errors or adjusting driver information.

Select the diagnostic or malfunction indicator.

The app displays information about the diagnostic or malfunction alert and provides recommendations for how to correct it.

Diagnostic Definitions

Power Data Diagnostic Event: The adapter did not receive power, or was not fully functional, for a period of time.

- 1 Check the vehicle diagnostic port connections.
- 2 Verify the adapter is firmly plugged into the vehicle diagnostic port.
- 3 Review all affected driver logs for missing or incorrect data.

Engine Synchronization Data Diagnostic Event: The adapter failed to synchronize with the vehicle engine computer to record required engine data for driver logs.

- 1 Check the vehicle diagnostic port connections.
- 2 Verify the adapter is firmly plugged into the vehicle diagnostic port.
- 3 Review all affected driver logs for missing or incorrect data.

Missing Required Data Elements Data Diagnostic Event: The Garmin eLog system failed to obtain one or more required data elements when recording driver logs.

- 1 Check the vehicle diagnostic port connections.
- 2 Verify the adapter is firmly plugged into the vehicle diagnostic port.
- 3 Check the Bluetooth settings on the device running the Garmin eLog app, and verify the device and the adapter are connected.
- 4 Check the GPS settings on the device running the Garmin eLog app, and verify the device settings allow location positions to be shared with the Garmin eLog app.
- 5 Review all affected driver logs for missing or incorrect data.

Data Transfer Data Diagnostic Event: A failure occurred with the method for transferring roadside inspection reports.

Perform the following actions:

- 1 Check the Bluetooth settings on the device running the Garmin eLog app, and verify the device and the adapter are connected.
- 2 Verify all USB storage devices used to transfer roadside inspection reports are operating correctly.
- 3 If you have not performed a data backup within the previous seven days, back up your recorded Garmin eLog data to a USB storage device.

Unidentified Driving Records Data Diagnostic Event: At least 30 minutes of unidentified driving was recorded within the current 24 hour period, and over the previous 7 days.

- Drivers: Review and claim the unidentified driving time.

- Administrator: Review and assign the unidentified driving time to the respective drivers.

Malfunction Definitions

Power Compliance Malfunction: The adapter did not receive power, or was not fully functional, for a period of time. At least 30 minutes of driving time may not have been correctly recorded across all drivers over the past 24 hours.

- 1 Check the vehicle diagnostic port connections.
- 2 Verify the adapter is firmly plugged into the vehicle diagnostic port.
- 3 Review all affected driver logs for missing or incorrect data.

Engine Synchronization Compliance Malfunction: The adapter failed to synchronize with the vehicle engine computer to record required engine data for driver logs. At least 30 minutes of inaccurate data may have been recorded across all drivers over the past 24 hours.

- 1 Check the vehicle diagnostic port connections.
- 2 Verify the adapter is firmly plugged into the vehicle diagnostic port.
- 3 Review all affected driver logs for missing or incorrect data.

Timing Compliance Malfunction: The Garmin eLog system failed to accurately verify the calendar date or time of day required for driver logs.

- 1 Verify the adapter is firmly plugged into the vehicle diagnostic port.
- 2 Check the Bluetooth settings on the device running the Garmin eLog app, and verify the device and the adapter are connected.
- 3 Check the date and time settings on the device running the Garmin eLog app.
- 4 Review all affected driver logs for missing or incorrect data.

Positioning Compliance Malfunction: The Garmin eLog system failed to acquire valid location positions required for driver logs. At least 60 minutes of inaccurate data may have been recorded across all drivers over the past 24 hours.

- 1 Verify the Garmin eLog app is running and a driver is logged in when driving the vehicle.
- 2 Check the Bluetooth settings on the device running the Garmin eLog app, and verify the device and the adapter are connected.
- 3 Check the GPS settings on the device running the Garmin eLog app, and verify the device settings allow location positions to be shared with the Garmin eLog app.
- 4 Review all affected driver logs for missing or incorrect data.

Data Recording Compliance Malfunction: The Garmin eLog system has reached the maximum storage capacity for driver logs and cannot store or retrieve more logs.

- 1 Create a RODS report for each driver for record keeping ([Exporting and Saving a Record of Duty Status \(RODS\) Report, page 47](#)).
- 2 Log in as an administrator.
- 3 Back up the system data ([Backing Up Data, page 40](#)).
- 4 Remove unneeded files from the storage of the device running the Garmin eLog app.

Data Transfer Compliance Malfunction: Multiple failures occurred with the method for transferring roadside inspection reports.

Perform the following actions:

- 1 Check the Bluetooth settings on the device running the Garmin eLog app, and verify the device and the adapter are connected.
- 2 Verify all USB storage devices used to transfer roadside inspection reports are operating correctly and are formatted using the FAT32 file system.
- 3 If you have not performed a data backup within the previous seven days, back up your recorded Garmin eLog data to a USB storage device.

Adapter Firmware Malfunction: A serious error occurred attempting to update the adapter firmware. Contact Garmin customer support for further help.

Outdated adapter firmware may not maintain compliance. Garmin recommends keeping paper logs until the adapter firmware is successfully updated.

Administrator Functions

NOTICE

The administrator account is critical for some app functions. Choose an administrator password you can remember, and do not lose the password. The administrator password cannot be recovered without clearing all app data, which causes all recorded Garmin eLog data to be deleted.

You must use the administrator account to perform some Garmin eLog app functions, including adding driver profiles, editing driver profiles, and resetting driver passwords. The administrator account and password are created during the initial Garmin eLog app setup. If the app is administered by a company, drivers may not have access to the administrator functions.

Adding Driver Profiles

You must log in as an administrator to add driver profiles.


- 1 From the Garmin eLog app, select **Add Driver**.
- 2 Enter the administrator password.
- 3 Enter the driver and motor carrier information.
- 4 If the driver has an exempt status, select **Exempt Driver**.
- 5 If the driver is allowed to use the vehicle for personal conveyance, select **Allow Personal Conveyance**.
- 6 If the driver is allowed to make yard moves, select **Allow Yard Moves**.
- 7 Select **Save**.

The first time the driver logs into the new profile, the app prompts the driver to enter their driver license number and create a password.

Editing a Driver Profile

An administrator can edit driver profiles to change driver privileges, reset profile passwords, or deactivate profiles.

NOTE: The administrator can edit basic driver information in the driver profile, but the Garmin eLog app does not support editing duty status records from the administrator account. To correct a duty status record, the driver must log in to the driver profile and edit the record ([Editing a Duty Status Record, page 46](#)).

- 1 Log in to an administrator account.
- 2 Select a driver profile.
- 3 Select  > **Edit Profile**.
- 4 Select an option:
 - To edit driver information, select a field to update it.
 - To reset the profile password, select **Reset Password**.
 - To deactivate the profile, select **Deactivate Profile**.

Clearing Garmin eLog App Data

NOTICE

Clearing the Garmin eLog app data will cause all retained ELD data to be deleted from your dēzl device. It is the responsibility of the driver and/or motor carrier to ensure ELD records are retained as required by applicable regulations.

You can clear the Garmin eLog app data to restore the app to the original factory state. This requires you to set up your Garmin eLog adaptor, administrator account, and all driver profiles again. Clearing the app data is also the only way to reset a lost or forgotten administrator password.

- 1 Log in to a driver or administrator account, and back up all data ([Backing Up Data, page 40](#)).
- 2 Wait for the backup to complete.
- 3 From the home screen, select **設定 > デバイス > アプリ > eLog > ストレージ**.
- 4 Select **データの消去**.

音声コマンド

注： すべての言語や地域で音声コマンドが使用できるわけではありません。また、音声コマンドを利用できないモデルもあります。

注： 周囲の音が大きい場合、音声認識ナビが望ましい性能を発揮できない可能性があります。

音声コマンドを使って、単語やコマンドを読み上げてデバイスを使用することができます。[音声コマンド]メニューには、音声プロンプトや利用可能なコマンドのリストが表示されます。

デバイスに話しかける際のヒント

- デバイスで指定されるはっきりした音声で発音します。
- OK、Garmin で各リクエストを開始します。
- 音声やラジオなどの背景雑音を軽減して、デバイスがコマンドをより正確に解釈できるようにします。
- 必要に応じて、デバイスからの音声案内に応答します。
- 有益な応答が得られない場合は、リクエストを言い換えてみてください。
- デバイスが要求に応答しない場合は、デバイスがスピーカーや通気口の近くに置かれていないかを確認してください。そのような場合、ノイズが発生してマイクに干渉していることがあります。

Garmin 音声案内ナビゲーションの起動

Garmin 音声案内ナビゲーションを使用すると、わかりやすい言語の音声要求を使用して、場所や住所を検索したり、針路方向を詳細に指示したり、ハンズフリー通話を発信したりできます。

- OK、Garmin と話しかけ、音声で要求します。
たとえば、次のようなフレーズを言うことができます。
 - OK, Garmin, take me home.
 - OK, Garmin, where's the library?

到着時刻の確認

ルートがアクティブな間に、フレーズを発音すると目的地への到着予定時刻を確認できます。

OK, Garmin, what time will we arrive? と話しかけます。

音声を使用して電話をかける

音声コマンドを使用して、ペアリングしたスマートフォンの電話帳から連絡先に電話をかけることができます。

OK, Garmin, call と話しかけて、連絡先名を言ってください。

例えば、OK, Garmin, call Mom. と言います。

音声を使用してデバイス設定を変更

次のようなフレーズを発音して、音量を 0~10 の値に設定できます。

- OK, Garmin, increase the volume.
- OK, Garmin, set the volume to 0.
- OK, Garmin, set the volume to 9.

アプリケーションを使用する

デバイスのマニュアルの表示

デバイス画面では、多くの言語の完全なマニュアルを表示できます。

- 1  > ツール > 操作マニュアルの順に選択します。

マニュアルは、ソフトウェアテキスト ([テキスト言語を設定する, 61 ページ](#)) と同じ言語で表示されます。

- 2  を選択して、マニュアル (オプション) を検索します。

トラック地図を表示する

トラック地図は、Surface Transportation Assistance Act (STAA) 推奨ルート、TruckDown® (TD) 推奨ルートなどの認識されたトラックルート、非放射性有害物質 (NRHM) ルートを強調表示します。認識されたルートは、地域とデバイスにロードした地図データにより変化します。

 > **dēzl** > **トラック地図** の順に選択します。



ルートプランナー

ルートプランナーを使用すると、ルートを作成して保存し、後でナビゲートできます。配達ルート、休暇、またはドライブの計画に便利です。保存したルートを編集すると、場所の並べ替え、おすすめアトラクションの追加、およびシェイピングポイントの追加など、さらにカスタマイズできます。





ルートプランナーを使用すると、アクティブルートを編集して保存することもできます。

ルートを計画する

ルートには多くの場所を含めることができますが、少なくとも出発地と目的地を含める必要があります。出発地とは、ルートを開始する予定の場所です。別の場所からルートのナビゲーションを開始すると、デバイスには最初に出発地にルートを設定するオプションが表示されます。往復する場合は、出発地と最終目的地を同じにすることができます。


- 1  > **dēzl** > **ルートプランナー** > **ルートを作成** の順に選択します。
- 2 **開始ポイント選択** を選択します。
- 3 始点を指定し、**選択** を選択します。
- 4 **目的地の選択** を選択します。
- 5 目的地の場所を指定し、**選択** を選択します。
- 6 **追加** を選択して、その他の場所を追加します (オプション)。
- 7 必要な場所をすべて追加したら、**次へ** >  の順に選択します。
- 8 名前を入力し、**完了** を選択します。

ルートの場所を編集および並べ替える

- 1 ルートプランナーを選択します。
- 2 保存したルートを選択します。
- 3 リストを選択します。
- 4 位置を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - 場所を変更するには、を選択し、新しい場所を入力します。
 - 場所を上下に移動するには、を選択し、場所をルートの新しい位置にドラッグします。
 - 選択した場所の後に新しい場所を追加するには、を選択します。
 - 場所を削除するには、を選択します。

ルートのルートオプションを変更する

デバイスでルートが計算される方法をカスタマイズできます。

- 1 ルートプランナーを選択します。
- 2 保存したルートを選択します。
- 3 を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ルートにシェイピングポイントを追加するには、**形成する**を選択し、1 カ所以上の場所を選択します。
 - ルートの計算モードを変更するには、ルートセグメントにタッチして計算モードを選択します。

保存したルートまでナビゲーションする

- 1 ルートプランナーを選択します。
- 2 保存したルートを選択します。
- 3 **Go!**を選択します。
- 4 ナビゲーション先の最初の位置を選択し、**OK**を選択します。

デバイスは現在地から選択した位置へのルートを計算し、残りのルート目的地に順番に案内します。

Editing and Saving Your Active Route

If a route is active, you can use the route planner to edit and save it.

- 1 Select **ルートプランナー** > **マイアクティブルート**.
- 2 Edit your route using any of the route planner features.

The route recalculates each time you make a change.
- 3 Select **保存** to save your route, which you can navigate again later (optional).

前のルートと目的地を表示する

この機能を使用する前に、走行履歴機能を有効にする必要があります ([デバイス設定](#), 62 ページ)。

前のルートと停止した場所を地図上に表示することができます。

 > **dēzl** > **トリップの履歴** の順に選択します。

天気予報を表示する


この機能を使用するには、デバイスで天気予報データを受信している必要があります。デバイスを **dēzl** アプリに接続して、天気予報データを受信できます。

- 1 メイン画面で、天気予報のウィジェットを選択します ([メイン画面](#), 7 ページ)。


デバイスは、現在の天気概況と今後数日間の予報を表示します。
- 2 曜日を選択します。

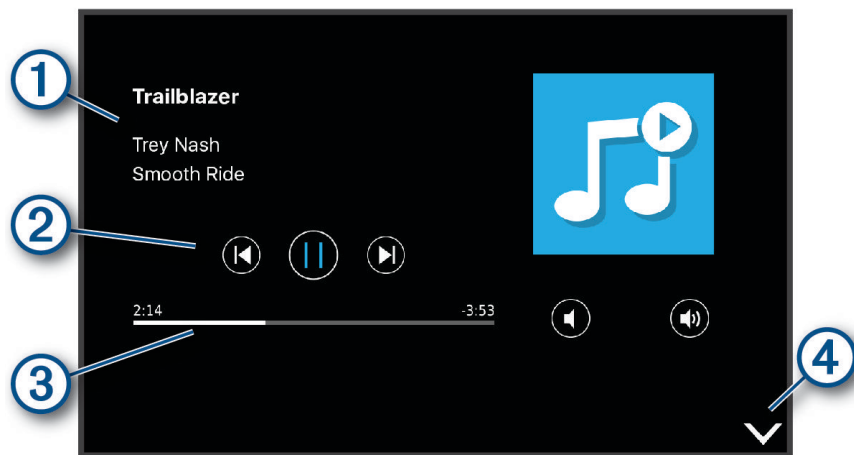
選択した曜日の詳細な天気予報が表示されます。

別の都市周辺の天気を表示する

- 1  > **dēzl** > **天気** > **現在地**の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ お気に入りの都市の天気を表示するには、リストの都市を選択します。
 - ・ お気に入りの都市を追加するには、**都市の追加**を選択し、都市名を入力します。

ミュージックプレイヤー


メディアプレイヤーを使用すると、ペアリングしたスマートフォンのメディアアプリから、現在再生しているメディアをデバイスで制御できます。メディアプレイヤーは、メインメニューから > **ツール** > **音楽**の順に選択して、いつでも開くことができます。



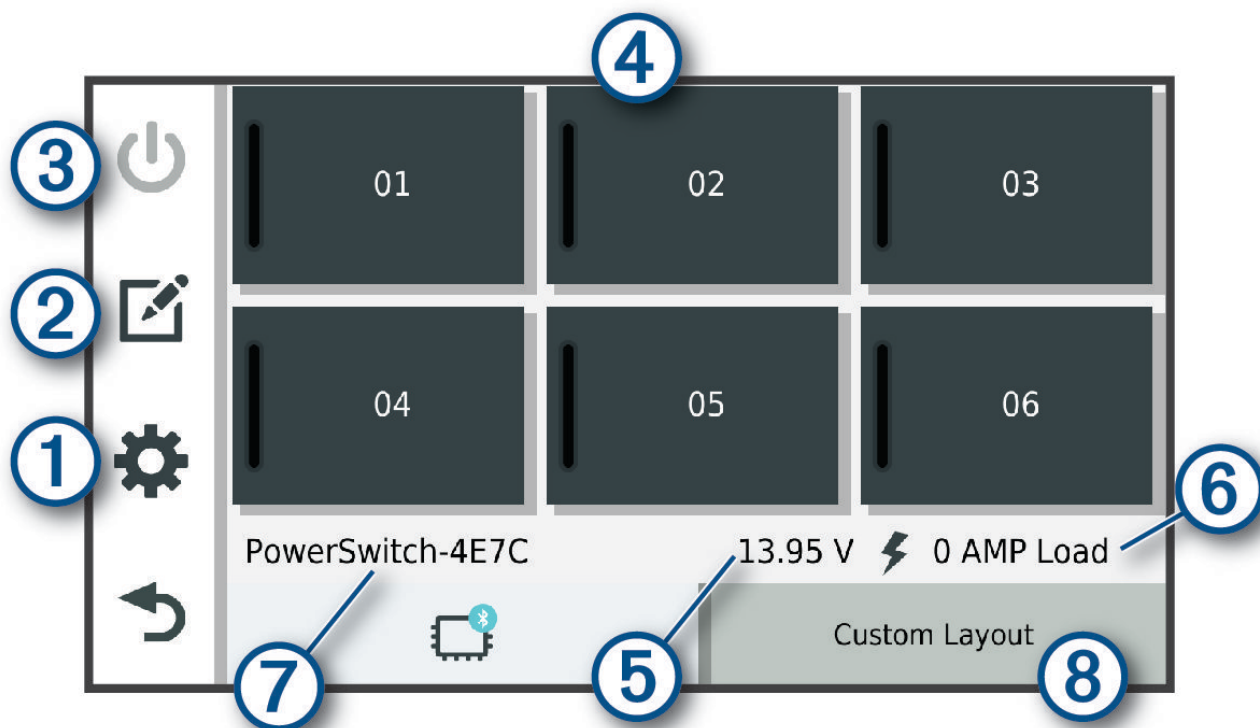
- | | |
|---|--|
| ① | タイトル、アーティスト、アルバム、ステーション、チャンネルなどの現在再生中のメディアの情報。 |
| ② | 現在のメディアアイテムを処理します。 |
| ③ | 再生コントロール。コントロールは、メディアを提供するサービスに基づいて変わります。 |
| ④ | 選択してメディアプレイヤーを非表示、または縮小します。 |



マップにミュージックプレイヤーツールを追加する

ミュージックプレイヤーマップツールを使用すると、マップからミュージックプレイヤーをコントロールできます。

- 1 マップを開きます。
- 2  > **音楽**の順に選択します。
マップにミュージックプレイヤーのコントロールが表示されます。

Garmin PowerSwitch™アプリ




① 	アプリ設定メニューを開きます
② 	編集モードを開始して、アプリのレイアウトと機能をカスタマイズします
③ 	すべての出力をオフにします
④ 電源ボタン	接続された各出力を有効にします
⑤	入力電圧を表示します
⑥	選択した Garmin PowerSwitch デバイスの合計アンペア数を表示します
⑦	デバイス名を表示します
⑧	Garmin PowerSwitch デバイスタブとカスタムレイアウトタブを表示します

電源スイッチの有効化




Garmin PowerSwitch アプリを使用してスイッチを有効にする前に、Garmin PowerSwitch デバイスを車両に取り付けて、Garmin PowerSwitch アプリとペアリングする必要があります。

Garmin PowerSwitch アプリから電源ボタンを選択し、スイッチのオン / オフを切り替えます。

すべてのスイッチをオフにする

を選択します。


ボタンのカスタマイズ

- 1 Garmin PowerSwitch アプリ画面から、を選択します。
アプリケーションが編集モードになります。
- 2 カスタマイズするボタンで、を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ボタンの名前を変更するには、**ボタンラベルフィールド**を選択し、名前を入力します。
 - ・ ボタンにアイコンを追加するには、**アイコンフィールド**を選択し、アイコンを選択します。
 - ・ ボタンの色を変更するには、色を選択します。
 - ・ ボタンモードを変更するには、ボタンモードを選択します。
 - ・ スイッチの輝度を調整するには、スライダーを使用します。
 - ・ 制御入力で有効にするボタンを設定するには、制御入力を選択します。
- 4 を選択します。
- 5 完了を選択します。

スイッチを制御入力へ割り当てる



制御入力機能を使用する前に、制御入力を Garmin PowerSwitch デバイ스에 接続する必要があります。

Garmin PowerSwitch デバイスが制御入力から信号を受信したときにオンにするスイッチを 1 つ以上割り当てることができます。




- 1 を選択します。
- 2 ご使用の Garmin PowerSwitch デバイスを選択します。
- 3 制御入力を選択します。
- 4 1 つ以上のスイッチを選択します。

カスタムレイアウトの追加



Garmin PowerSwitch アプリにカスタムレイアウトタブを追加できます。カスタムレイアウトに追加したボタンは、同時に複数のスイッチを制御できます。

- 1 Garmin PowerSwitch アプリから、を選択します。
デバイスが編集モードになります。
- 2 を選択します。




カスタムレイアウトへボタンを追加する

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、カスタムレイアウトタブを選択します。
- 2  を選択します。
アプリケーションが編集モードになります。
- 3 **[追加] ボタン**を選択します。
- 4 新しいボタンで、 を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ボタンの名前を変更するには、**ボタンラベルフィールド**を選択し、名前を入力します。
 - ・ ボタンにアイコンを追加するには、**アイコンフィールド**を選択し、アイコンを選択します。
 - ・ ボタンの色を変更するには、色を選択します。
- 6 **アクションを追加**を選択します。
- 7 必要に応じて、Garmin PowerSwitch デバイスとスイッチを選択します。
- 8 以下のようにして、アクションを選択します。
 - ・ ボタンを押すたびにスイッチのオン / オフを切り替えるように設定するには、**切り替え**を選択します。
 - ・ スイッチをオンにするようボタンを設定するには、**オンにする**を選択します。
 - ・ スイッチをオフにするようボタンを設定するには、**オフにする**を選択します。
- 9 ボタンモードを選択します。
 - ・ ワンタッチで有効にするようボタンを設定するには、**標準**を選択します。
 - ・ ボタンにタッチしている間のみ有効にするようボタンを設定するには、**モーメンタリ**を選択します。
 - ・ ボタンを繰り返しオン / オフするように設定するには、**ストロボ**を選択し、時間間隔を選択します。
- 10 必要に応じて、スライダーを使用して照明の明るさを設定します。
- 11  を選択します。
- 12 必要に応じて、**アクションを追加**を選択して、ボタンのアクションを追加します。
Garmin PowerSwitch デバイスのスイッチごとに 1 つのアクションを追加できます。

カスタムレイアウトでのボタンの配置

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、カスタムレイアウトタブを選択します。
- 2  を選択します。
アプリケーションが編集モードになります。
- 3 移動するボタンで  を押したまま、ボタンを新しい場所にドラッグします。


カスタムレイアウトまたはボタンの削除

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、カスタムレイアウトタブを選択します。
- 2  を選択します。
アプリケーションが編集モードになります。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ボタンを削除するには、削除するボタンの  を選択します。
 - ・ レイアウトタブを削除するには、レイアウトタブの  を選択します。




ルーチン

ルーチンは Garmin PowerSwitch デバイスを自動化します。互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスでルーチンを定義している場合、ルーチンの条件が満たされると、ルーチンのオン / オフが自動的に切り替わります。たとえば、毎日特定の時間になったとき、または車両が特定の速度に達したときにスイッチをオンにするルーチンを設定できます。ルーチンは、互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスを使用している場合のみ使用できます。

ルーチンの追加

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、 > ルーチンの順に選択します。
- 2 必要に応じて、**ルーチンを追加**を選択します。
- 3 **タイミング**を選択します。
- 4 トリガーを選択します。
 - ・ 車両が特定の速度に達したときにトリガーするスイッチを設定するには、**速度** > 次への順に選択し、画面に表示される指示に従って速度しきい値を入力します。
 - ・ 毎日特定の時刻にトリガーするようにスイッチを設定するには、**時間** > 次への順に選択し、時刻を入力します。
 - ・ 日の出にトリガーするようにスイッチを設定するには、**日の出時刻**を選択します。
 - ・ 日の入りにトリガーするようにスイッチを設定するには、**日の入時刻**を選択します。
- 5 **アクションを追加**を選択します。
- 6 デバイス、スイッチ、アクション、およびボタンモードを選択します。
- 7 必要に応じて、スライダーを使用して調光器を調整します。
- 8 **保存**を選択します。

ルーチンの編集

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、 > ルーチンの順に選択します。
- 2 編集するルーチンのを選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ルーチンのトリガーを変更するには、**タイミング**を選択し、トリガーを選択します。
 - ・ アクションを変更するには、変更するアクションのを選択し、アクションを更新します。
 - ・ ルーチンにアクションを追加するには、**アクションを追加**を選択し、アクションに関する情報を入力します。
- 4 **保存**を選択します。

ルーチンの削除

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、 > ルーチンの順に選択します。
- 2 削除するルーチンでを選択します。

設定

ナビゲーション設定

設定 > ナビゲーションの順に選択します。

計算モード: ルート計算方法を設定します。

回避: ルート上で回避する道路の特徴を設定します。

カスタム回避: 特定の道路や地域を回避することができます。

制限モード: 運転中に注意散漫になって事故を招く恐れのあるすべてのデバイス機能が無効になります。

音声言語: ナビゲーション音声案内の言語を変更します。

走行履歴: 目的地の記録をデバイスに保存できます。これにより、軌跡ログを表示したり、走行履歴機能を使用したり、myTrends 推奨ルートを使用したりできます。

走行履歴の消去: デバイスからすべての走行履歴を消去できます。

地図および車両設定

設定 > 地図および車両の順に選択します。

車両: 地図上で自分の位置を示す車両アイコンを設定します。

運転地図表示: 地図の表示方法を設定します。

詳細度: 地図の詳細度を設定します。詳細度が高いほど、地図の描画に時間がかかることがあります。

地図テーマ: 地図データの色を変更します。

地図レイヤー: 地図ページに表示するデータを設定します ([地図レイヤーをカスタマイズする, 31 ページ](#))。

自動ズーム: 地図の使用に最適なズームレベルが自動的に選択されます。無効にすると、ズームインまたはズームアウトを手動で行う必要があります。

単位: 地図で使用する単位を設定します。

マイマップ: デバイスで使用されるインストール済み地図を設定します。

地図を有効にする

デバイスにインストールされている地図製品を有効にすることができます。

ヒント: 追加の地図製品を購入するには、garmin.com/maps にアクセスしてください。

1 設定 > 地図および車両 > マイマップの順に選択します。

2 地図を選択します。

ワイヤレスネットワークに接続する

1 設定 > ワイヤレスネットワーク > Wi-Fi の順に選択します。

2 必要に応じて切り換えスイッチを選択して、ワイヤレスネットワークを有効にします。

3 ワイヤレスネットワークを選択します。

4 必要に応じて暗号キーを入力します。

デバイスがワイヤレスネットワークに接続されます。デバイスがネットワーク情報を記憶し、この場所に戻ったときに、自動的に接続します。

Bluetooth 無線技術を有効にする

設定 > ワイヤレスネットワーク > Bluetooth の順に選択します。

運転者支援の設定

設定 > 安全運転支援の順に選択します。

オーディブルドライバーアラート: 各種ドライバーアラートごとに警告音を有効にできます ([ドライバーへの注意喚起の機能とアラート, 10 ページ](#))。

スピードカメラ: スピードカメラや赤信号カメラに近づいたときに警告します。

ルートのプレビュー: ナビゲーションを開始すると、ルートの幹線道路のプレビューを表示します。

休憩の計画: 運転時間を監視し、休憩を提案し、今後のサービスを示す休憩計画機能を有効にします。

トラフィック設定

メインメニューで、設定 > トラフィックの順に選択します。

トラフィック: トラフィック機能を有効にします。

現在のプロバイダ: トラフィックデータに使用するトラフィックプロバイダを設定します。自動オプションでは、利用可能な最適なトラフィックデータが自動的に選択されます。

サブスクリプション: 現在のトラフィックサブスクリプションをリスト表示します。

最適なルート: 最適な代替ルートを自動的に、または要求に応じて使用できるようにします ([ルート上の交通遅延を回避する, 25 ページ](#))。

ディスプレイ設定

設定 > デバイス > ディスプレイの順に選択します。

輝度レベル: デバイスのディスプレイの輝度レベルを設定します。

ダークテーマ: ダークカラーのテーマを有効または無効にします。

壁紙: デバイスの壁紙背景を設定します。

画面タイムアウト: バッテリー電源の使用時にデバイスがディスプレイをオフにするまでのアイドル時間を設定できます。

フォントサイズ: デバイスのフォントサイズを増減します。

画面の自動回転: デバイスの向きに基づいて画面を縦向き表示モードと横向き表示モードの間で自動的に切り替えるか、または現在の向きのままにすることができます。

サウンドと通知の設定

設定 > デバイス > サウンドと通知の順に選択します。

音量スライダー: ナビゲーション、メディア、通話、アラーム、および通知警告の音量レベルを設定します。

サイレントモード: 自動サイレントモード機能のルールを設定します。この機能を使用すると、特定の時間帯またはイベント中の警告音を無効にすることができます。

デフォルトの着信音: デバイスのデフォルトの着信音を設定します。

デフォルトのアラーム音: デバイスのデフォルトのアラームを設定します。

その他のサウンド: 画面のタッチ、画面のロック、充電など、その他のデバイス操作音を有効または無効にすることができます。

サウンドと通知の音量を調整する

- 1 設定 > デバイス > サウンドと通知の順に選択します。
- 2 スライダーバーを使用して、サウンドと通知の音量を調整します。

位置情報サービスを有効または無効にする

デバイスで現在地の検索、ルート計算、ナビゲーション支援の提供を行うには、位置情報サービス機能を有効にする必要があります。GPS 信号が利用できない場合は、位置情報サービスを無効にして、ルートを計画できます。位置情報サービスが無効なときは、GPS シミュレーターを使用してルートを計算し、シミュレートすることができます。

ヒント: 位置情報サービスを無効にすると、バッテリー電力を節約できます。

- 1 設定 > 個人 > 位置の順に選択します。
- 2 トグルスイッチを選択して、位置情報サービスを有効または無効にします。

テキスト言語を設定する

デバイスソフトウェアのテキストの言語を選択できます。

- 1 設定 > 個人 > 言語と入力 > 言語の順に選択します。
- 2 言語を選択します。

日付と時刻の設定

設定 > システム > 日付と時刻の順に選択します。

ネットワーク時間を使用: 接続されたネットワークからの情報に基づいてタイムゾーンを自動的に設定します。

ネットワークタイムゾーンを使用: ネットワーク時間を使用が無効になっている場合は、デバイスのタイムゾーンを設定します。

24 時間表示を使用: 24 時間形式を有効または無効にします。

デバイス設定

設定 > デバイス情報の順に選択します。

法規制情報: エンドユーザー使用許諾契約 (EULA) およびソフトウェアライセンス情報を表示できます。

法規: E ラベルの規制および規制準拠に関する情報を表示します。

Garmin デバイス情報: ハードウェアおよびソフトウェアバージョン情報を表示します。

デバイス情報

E ラベルの規制およびコンプライアンス情報の表示

- 1 設定メニューから、メニューの下部にスワイプします。
- 2 デバイス情報 > 法規を選択します。

仕様

動作温度範囲	-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 131°F)
充電温度範囲	0°C ~ 45°C (-32°F ~ 113°F)
電源入力	付属の車両用電源ケーブルを使用した電源供給別売アクセサリを使用して AC 電源から電源供給 (家庭やオフィスでの使用時限定)
バッテリータイプ	充電式リチウムイオン

デバイスを充電する

注: このクラス III 製品は LPS 電源により電源が供給されます。

以下のいずれかの方法で、デバイスのバッテリーを充電することができます。

- デバイスをマウントに取り付けて、マウントを車両電源に接続します。
- コンセント電源アダプターなどのオプション電源アダプターアクセサリにデバイスを接続します。
家庭用またはオフィス用に適した、承認済みの GarminAC-DC アダプターを Garmin 販売店または www.garmin.com から購入できます。デバイスがサードパーティ製アダプタに接続されている場合、デバイスの充電に時間がかかる場合があります。

デバイスのメンテナンス

Garmin サポートセンター

製品マニュアル、よく寄せられる質問 (FAQ)、ビデオ、カスタマーサポートなどのヘルプや情報については、support.garmin.com を参照してください。

Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新

注記

地図やソフトウェアの更新では、デバイスで大きなファイルをダウンロードする必要がある場合があります。通常のデータ制限や料金がインターネットサービスプロバイダから適用されます。データ制限や料金の詳細については、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

インターネットへのアクセスを提供する Wi-Fi ネットワークにデバイスを接続することで、地図やソフトウェアを更新できます。これにより、デバイスをコンピュータに接続しないで最新の状態に保つことができます。

- 1 付属の USB ケーブルを使用して、デバイスを外部電源に接続します。

注：USB 電源アダプターは付属していません。アクセサリの電源アダプターを購入するには、garmin.com の製品ページにアクセスしてください。

- 2 デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続します (ワイヤレスネットワークに接続する, 60 ページ)。

Wi-Fi ネットワークに接続されている間、デバイスは利用可能な更新がないか自動的にチェックし、利用可能な更新が見つかったと通知を表示します。

- 3 次のの中からオプションを選択します。

- 更新通知が表示されたら、画面の上部から下へスワイプし、**更新が利用可能です**。を選択します。
- 更新を手動で確認するには、**設定 > 更新**の順に選択します。

利用可能な地図とソフトウェアの更新が表示されます。更新が利用可能な場合は、**更新が利用可能ですが地図またはソフトウェアの下に表示されます**。

- 4 次のの中からオプションを選択します。

- 利用可能なすべての更新をインストールするには、**ダウンロード**を選択します。
- 地図の更新のみをインストールするには、**地図**を選択します。
- ソフトウェアの更新のみをインストールするには、**ソフトウェア**を選択します。

- 5 必要に応じて、使用許諾契約を読み、**同意**を選択して使用許諾契約に同意します。


注：使用許諾契約に同意しない場合、拒否を選択できます。これにより、更新処理は停止します。使用許諾契約に同意するまで更新をインストールすることはできません。

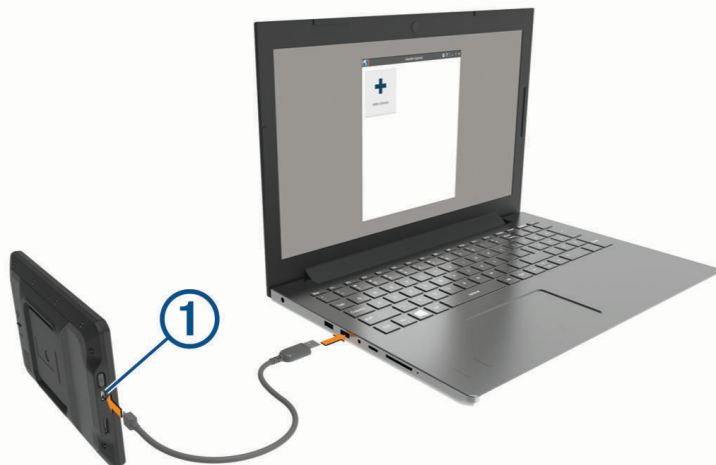
- 6 更新処理が完了するまで、デバイスを外部電源に接続したままにして Wi-Fi ネットワークの範囲内に維持します。

ヒント：地図の更新が中断したり、完了する前にキャンセルされたりした場合、デバイスの地図データが失われることがあります。失われた地図データを修復するには、地図をもう一度更新する必要があります。

Garmin Express による地図とソフトウェアの更新

Garmin Express アプリケーションを使用して、お使いのデバイスに対応した最新の地図やソフトウェア更新をダウンロードしてインストールできます。

- 1 コンピュータに Garmin Express アプリケーションがインストールされていない場合は、garmin.com/express にアクセスし、画面に表示される指示に従ってインストールします (Garmin Express をインストールする, 65 ページ)。
- 2  Garmin Express アプリケーションを開きます。
- 3 USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続します。
ケーブルの小さい方の端は dēzl デバイスの USB ポート ① に接続し、大きい方の端はコンピュータで利用できる USB ポートに接続します。



- 4 Garmin Express アプリケーションで、**デバイスの追加**をクリックします。
Garmin Express アプリケーションはデバイスを検索し、デバイス名とシリアル番号を表示します。
- 5 **デバイスの追加**をクリックし、画面に表示される指示に従って、ご使用のデバイスを Garmin Express アプリケーションに追加します。
セットアップが完了すると、Garmin Express アプリケーションにデバイスで利用できる更新が表示されます。

更新を利用できます

前回の確認：たった今 

推定インストール時間：1時間-18分

[詳細の表示](#)

[すべてインストール](#)

6 次の中からオプションを選択します。

- ・ 利用可能なすべての更新をインストールするには、**すべてインストール**をクリックします。
- ・ 特定の更新をインストールするには、**詳細の表示**をクリックし、必要な更新の横にある**インストール**をクリックします。

Garmin Express アプリケーションがデバイスに更新をダウンロードしてインストールします。地図の更新は非常に大きく、インターネットの接続速度が遅い場合、この処理には長時間かかる場合があります。

注： 地図の更新がデバイスの内部ストレージに対して大きすぎる場合は、ソフトウェアで、microSD®デバイスにカードを挿入してストレージ領域を追加するように求めるメッセージが表示される場合があります ([地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する, 75 ページ](#))。

7 更新処理中は画面上の指示に従って、更新のインストールを完了します。

たとえば、更新処理中、Garmin Express アプリケーションからデバイスを切断して再接続するように指示される場合があります。

Garmin Express をインストールする

Garmin Express アプリケーションは Windows®および Mac®コンピュータで利用できます。

1 コンピュータから garmin.com/express にアクセスします。

2 次の中からオプションを選択します。

- ・ システム要件を表示し、Garmin Express アプリケーションがコンピュータと互換性があることを確認するには、**システム要件**を選択します。
- ・ Windows コンピュータにインストールするには、**ダウンロード (Windows)**を選択します。
- ・ Mac コンピュータにインストールするには、**ダウンロード (Mac)**を選択します。

3 ダウンロードファイルを開き、画面に表示される指示に従って、インストールを完了してください。

デバイスのお手入れ

注記

装置を落とさないようにしてください。

長時間高温に晒されるような場所に装置を保管しないでください。破損する可能性があります。

タッチスクリーンの操作に硬いものやとがったものは絶対に使用しないでください。スクリーンを傷つける恐れがあります。

デバイスを水に濡らさないでください。

外側ケースのクリーニング

注記

化学洗剤や溶媒は使用しないでください。プラスチック部品が損傷する可能性があります。

1 低刺激性の洗浄液で湿らせた布で、デバイスの外側ケース (タッチスクリーン以外) を拭きます。

2 デバイスの湿気を拭き取ります。

タッチスクリーンのクリーニング

1 柔らかく、清潔で糸くずの出ない布を使用します。

2 必要に応じて、布を軽く湿らせます。

3 湿らせた布を使用する場合は、デバイスの電源をオフにして、デバイスを電源から切り離します。

4 力を入れずに画面を布で拭きます。

盗難防止

- ・ 使用しないときは、デバイスおよびマウントを見えるところから取り外してください。
- ・ 吸着カップによって付いたフロントガラス上の汚れを取り除いてください。
- ・ ユニットをダッシュボードのグローブボックスに入れておかずにください。
- ・ Garmin Express ソフトウェアを使用してデバイスを登録します (garmin.com/express)。

デバイスをリセットする

デバイスが動作を停止した場合は、リセットできます。

電源キーを 12 秒間押し続けます。

デバイス、マウント、吸着カップを取り外す

吸着カップからマウントを取り外す

- 1 マグネット式マウントを吸着カップボールに固定しているナットを緩めます。
- 2 デバイスのマウントを右または左に回転させます。
- 3 マウントのソケットから吸着カップのボールが外れるまで力を掛けます。

フロントガラスから吸着カップを取り外す

- 1 吸着カップのレバーを自分の方に倒します。
- 2 吸着カップのつまみを自分の方に引きます。

トラブルシューティング

吸盤がフロントガラスに取り付けられない

- 1 吸盤とフロントガラスを消毒用アルコールで拭き取ります。
- 2 乾燥した清潔な布で乾かします。
- 3 吸盤を取り付けます ([車両へのデバイスの取り付けと電源の供給, 2 ページ](#))。

運転中にマウントでデバイスが所定の位置に保持されない

最善の結果を得るには、車両マウントをきれいな状態に保ち、デバイスを吸盤の近くに配置します。

運転中にデバイスの位置が動く場合は、以下の操作を実行してください。

- 電源に接続されたマウントを吸盤アームから取り外し、ボールとソケットを布で拭きます。
ほこりなどの異物が入ると、ボールとソケットジョイントとの摩擦が減り、運転中にジョイントが動きます。
- ヒンジ付きのアームを、フロントガラスの角度で可能な限り吸盤に向けて回転させます。
デバイスをフロントガラスの近くに置くと、道路からの揺れや振動の影響が軽減されます。

デバイスで衛星信号を受信できない

- 位置情報サービスが有効になっていることを確認します ([位置情報サービスを有効または無効にする, 61 ページ](#))。
- 駐車場からデバイスを持ち出して、高層ビルや樹木から離れた場所へ移動してください。
- 数分間静止したままにします。

デバイスを車両で充電できない

- 車両のイグニッションがオンになっており、電源コンセントに電気が流れていることを確認します。
- 車内温度が仕様で指定されている充電温度範囲内であることを確認します。
- 車両のヒューズボックスで、車両の電源コンセントのヒューズが切れていないことを確認します。

充電しても電池の電力が長持ちしない

- 画面の輝度を下げます (ディスプレイ設定, 61 ページ)。
- ディスプレイのタイムアウトを短くします (ディスプレイ設定, 61 ページ)。
- 音量を下げます (サウンドと通知の音量を調整する, 61 ページ)。
- 使用しないときは、Wi-Fi 無線をオフにします (ワイヤレスネットワークに接続する, 60 ページ)。
- 使用しないときは、デバイスを省電力モードにします (デバイスの電源をオンまたはオフにする, 6 ページ)。
- デバイスを高温になる場所に保管しないでください。
- デバイスは直射日光の当たるところに放置しないでください。

デバイスがスマートフォンに接続されません

- **設定 > Bluetooth** の順に選択します。
[Bluetooth] オプションを有効にする必要があります。
- スマートフォンで Bluetooth 無線の設定を有効にし、デバイスから 10m (33 ft.) 以内の範囲に電話を持ってきます。
- お使いのスマートフォンが対応していることを確認します。
詳細については、www.garmin.com/bluetooth を参照してください。
- ペ어링プロセスを再度完了します。
ペ어링プロセスを繰り返すには、スマートフォンとデバイスのペ어링を解除して (ペ어링した電話を削除する, 35 ページ)、ペ어링プロセスを完了する必要があります。

付録

Garmin PowerSwitch

警告

Garmin 装置の設置は、電気機器に関する適切な知識を持った、経験豊富な技術者が行うことを強くお勧めします。電源ケーブルの配線を誤ると、車両やバッテリーを破損し、怪我の原因になる可能性があります。

接続された Garmin PowerSwitch デバイスを使用すると、dēzl デバイスから照明、ファンなどを制御できます。

取り付けに関する注意事項

- デバイスは、バッテリーの近くでかつ付属の電源ケーブルの範囲内に取り付ける必要があります。
- 取り付け面は、デバイスの重量を支えるのに十分な強度が必要です。
- 取り付ける場所には、すべてのケーブルの配線と接続のために十分な空間が必要です。

デバイスの取り付け

デバイスを取り付ける前に取り付け位置を選択し、取り付け面に適したハードウェアを購入する必要があります。

注記

車両にパイロット穴を開け、マウントを取り付けるときには、ワイヤ、計器、エアバッグ、エアバッグカバー、HVACなどは避けてください。Garminは、取り付けによって生じた損害や結果については一切責任を負いません。

- 1 選択した場所にマウントを配置します。



- 2 マウントをテンプレートとして使用し、2箇所ネジ位置①に印を付けます。
- 3 パイロットホールを開けます (オプション)。
一部のタイプの取り付け材質では、パイロットホールをドリルで開ける必要があります。マウント越しにドリルを使わないでください。
- 4 取り付け面に適したハードウェアを使用して、マウントを表面にしっかりと固定します。

前面カバーを開く

電気接続を行うには、前面カバーを開く必要があります。

1 前面カバーラッチ ① を持ち上げ、反時計回りに回します。



2 前面カバーをデバイスから引き出します。



アクセサリーの接続

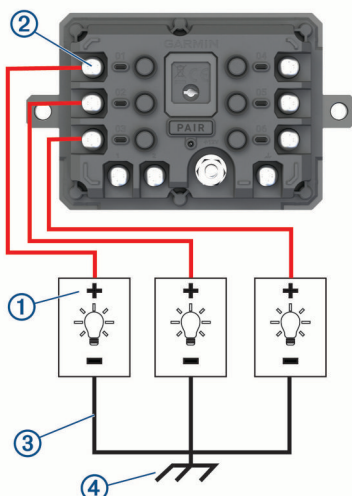
注記

ウインチの制御や電源供給にデバイスを使用しないでください。この注記に従わないと、車両またはデバイスが損傷することがあります。

電源をアクセサリー出力端子に接続しないでください。この注記に従わないと、車両またはデバイスが損傷することがあります。

アクセサリーの要件

- Garmin PowerSwitch デバイスに配線する前に、各アクセサリーの定格アンペアを確認してください。このデバイスは、各チャンネルで最大 30 A、システム全体で最大 100 A のアクセサリーに対応しています。
 - 20～30 A を使用するアクセサリーには、10 AWG (6 mm²) の配線を使用します。
 - 10～20 A を使用するアクセサリーには、12 AWG (4 mm²) の配線を使用します。
 - 10 A 未満を使用するアクセサリーには、14 AWG (2.5 mm²) の配線を使用します。
 - すべてのアクセサリー接続には適切なサイズの端子を使用します。
 - すべての端子コネクターをしっかりと圧着します。
- 1 アクセサリー ① のプラス線を Garmin PowerSwitch デバイスのアクセサリー端子 ② のいずれかに接続します。



- 2 マイナス線またはアース線 ③ を車両フレームの塗装されていないアーススタッド ④ に、アース供給ブロックに、またはバッテリーのマイナス端子に直接接続します。

△ 注意

アクセサリーアース線を Garmin PowerSwitch デバイスのアース端子 (GND) に接続しないでください。接続すると、人的損害や物的損害が発生したり、デバイスの機能に悪影響を及ぼすことがあります。

- 3 すべての電気接続がしっかりと締め付けられていることを確認し、使用中に緩まないようにしてください。

制御入力の接続

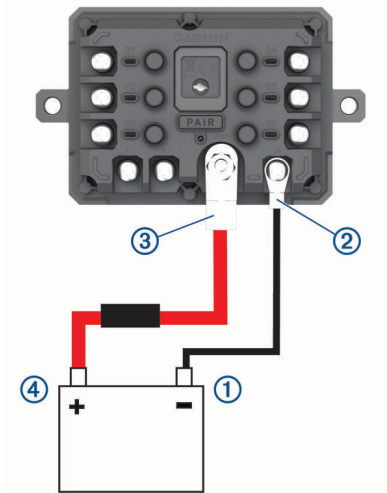
制御端末に接続して Garmin PowerSwitch デバイスを有効にすると、カスタマイズ可能な出力をオンにできます。たとえば、車両のイグニッションスイッチを制御入力端子に接続すると、車両を始動するたびにアクセサリーを自動的にオンにすることができます。制御端子は、3.3 V～18 V の信号を検出します。Garmin PowerSwitch アプリを使用して出力機能を構成できます。

車両の制御ソースからの制御線を Garmin PowerSwitch デバイスの 2 つの制御端子のいずれかに接続します。

デバイスを車両電源に接続する

デバイスを車両の電源に接続する前に、デバイスの+12V 端子から警告タグを取り外す必要があります。すべての電気接続が確実に固定され、デバイスの操作中に緩まないことを必ず確認してください。

- 1 同梱されているアース線 ① の大きいリング側を車両バッテリーのマイナス端子に接続します。



- 2 アース線の小さいリング側をデバイスの **GND** 端子 ② に接続します。
- 3 付属の 12V ケーブルの小さいリング側をデバイスの **+12V** 端子 ③ に接続します。
- 4 +12V 端子の $\frac{3}{8}$ in. ナットを最大トルク仕様 4.52 N-m (40 lbf-in.) で締め付けます。
ナットは手で緩めることができないことを確認する必要があります。

注記

端子の損傷を防ぐため、+12V 端子を締めすぎないでください。

- 5 12V ケーブル ④ の大きいリング側を車両バッテリーのプラス端子に接続します。

Garmin ナビゲーションデバイスとのペアリング

Garmin PowerSwitch デバイスを互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスとペアリングできます。

- 1 Garmin PowerSwitch デバイスの電源を入れ、互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスをデバイスから 1 m (3.3 ft.) 以内に配置します。
- 2 互換性のあるナビゲーションデバイスで、Garmin PowerSwitch アプリを開きます。
- 3 画面上の指示に従って、ペアリングおよびセットアッププロセスを完了します。

メインアプリダッシュボードが表示されます。デバイスは、ペアリングされると、電源がオンになって範囲内にあるときに、自動的に接続されます。

Garmin PowerSwitch 仕様

寸法 (奥行き x 幅 x 高さ)	75 × 125 × 32 mm (2.95 × 4.92 × 1.26 in.)
動作温度範囲	-25° ~ 85°C (-13° ~ 185°F)
無線周波数	2.4 GHz @ +15 dBm
電源入力	付属の車両電源ケーブルを使用して 12 ~ 16 V。
最大アクセサリ出力	30 A
最大システム出力	100 A
すべての出力をオフにした状態での電流引き込み	3 mA
防水等級	IEC 60529 IPX7 ¹

トラブルシューティング

自分の Garmin PowerSwitch が接続したままになりません

- Garmin PowerSwitch デバイスが受電していることを確認します。
- ペアリングしたナビゲーションデバイスまたはスマートフォンで Bluetooth テクノロジーが有効になっていることを確認します。
- ナビゲーションデバイスまたはスマートフォンをご自分の Garmin PowerSwitch デバイスに近づけます。
- 車両のバッテリーが 12 V 以上の電力を供給していることを確認します。
供給電力が 11 V 未満の場合、車両のバッテリーを保持するため、Garmin PowerSwitch デバイスはすべての出力を自動的にオフにします ([アクセサリに電力が供給されていません, 72 ページ](#))。

アクセサリに電力が供給されていません

- Garmin PowerSwitch デバイスが車両バッテリーから電力を供給されていることを確認します。
- 車両のバッテリーが 12 V 以上の電力を供給していることを確認します。
11 V 未満の電力を受信している場合、Garmin PowerSwitch デバイスはすべての出力を自動的にオフにして、車両のバッテリーを保持します。出力は、デバイスが 12 V を超える電力を検出するとオンに戻ります。
- 全ての電気接続が確実に固定されていることを確認し、走行中に緩むことがないようにします。
- 接続されている各アクセサリーの消費電力が 30 A 未満であることを確認します。
アクセサリーの消費電力が 30 A を超えると、デバイスはその出力を自動的にオフにします。
- システム全体の消費電力が 100 A 未満であることを確認します。
100 A を超えるシステムの消費電力を検出すると、すべての出力が自動的にオフになります。
- すべての電気接続に短絡がないか点検します。

ワイヤレスカメラ

接続された 1 台以上のワイヤレスカメラ (別売) からのビデオフィードを表示できます。

¹ このデバイスは水深 1 m、30 分までの偶発的な水没に耐える防水性能を備えています。詳細については、www.garmin.com/waterrating を参照してください。

BC™ 50 バックアップカメラと Garmin ナビゲーションデバイスをペアリングする

カメラに接続する前に、Garmin ナビゲーションデバイスの Wi-Fi 設定を有効にする必要があります。

BC 50 ワイヤレスバックアップカメラは、Android を搭載した一部の Garmin ナビゲーションデバイスと互換性があります。デバイスの互換性について詳しくは、garmin.com/bc50 を参照してください。

最大 4 台の BC 50 ワイヤレスバックアップカメラを、互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスとペアリングできます。

- 1 ナビゲーションデバイスを最新のソフトウェアに更新します。

デバイスは最新のソフトウェアがインストールされていない BC 50 カメラをサポートしない場合があります。ソフトウェアの更新について詳しくは、ナビゲーションデバイス操作マニュアルを参照してください。

- 2 Garmin ナビゲーションデバイスの電源をオンにし、カメラから 3 m (10 ft.) 以内の範囲に移動します。

- 3 車両をリバースに入れて、カメラの電源をオンにします。

- 4  > ツール > リアビュー >  > BC50 の順に選択します。

- 5 使用可能なカメラのリストから、BC 50 カメラを選択します。

- 6 画面上の矢印を使用してガイドスラインを配置します。

カメラまたは車両が、ガイドラインのアライメントを完了するのに理想的な位置にない場合は、後でアライメントを完了することができます。

- 7 保存を選択します。

カメラとナビゲーションデバイスの初回ペアリングが完了すると、それ以降は自動的に接続されます (カメラとナビゲーションデバイスの電源がオンで接続可能な範囲内の場合)。

有線のバックアップカメラを接続する

有線のバックアップカメラを接続するには、オプションのビデオマウントアクセサリを使用する必要があります。これには、3.5 mm のコンポジットビデオ入力ジャックが含まれています。アクセサリマウントを購入するには、garmin.com にアクセスしてください。ビデオマウントアクセサリは、一部のデバイスモデルに付属しています。

有線のバックアップカメラを接続し、デバイスの画面に出力を表示することができます。

- 1 元のデバイスマウントをビデオマウントアクセサリと交換します。
- 2 カメラのビデオケーブルをマウントのビデオ入力ジャック ① に接続します。




バックアップカメラを表示する

⚠ 警告

このデバイスは、適切に使用された場合に状況認識を高めることを目的としています。不適切に使用すると、ディスプレイに気を取られ、重傷事故や死亡事故につながる可能性があります。デバイスに表示された情報を、凝視しないようにしてください。周囲の状況に常に気を配るようにして、ディスプレイを見つめたり、ディスプレイに気を取られたりしないでください。ディスプレイに意識を向けると、障害物や危険物を見落とすおそれがあります。

カメラを互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスとペアリングすると、ナビゲーションデバイスをオンにしたときにカメラビューが自動的に表示されます。また、いつでも手動でカメラを表示することもできます。

- ・ ナビゲーションデバイスがイグニッション連動電源に接続されている場合は（推奨）、車両の電源を入れます。
- ・ ナビゲーションデバイスが常時オン電源に接続されている場合は、ナビゲーションデバイスの電源を入れます。
- ・ カメラを手動で表示するには、 を選択します。
- ・ 音声コマンドを使用してカメラを表示または非表示にするには、**ビデオを表示**または**ビデオを表示しない**と発声します。

注：音声コマンドは、一部のナビゲーションデバイスでは使用できません。音声コマンドは、ご利用のナビゲーションデバイスによって異なる場合があります。この機能は、一部の言語では使用できません。また、一部の言語では、追加のナビゲーションデバイスの設定が必要になる場合があります。詳細については、ナビゲーションデバイスの OK, Garmin アプリまたは、ナビゲーションデバイスの操作マニュアルを参照してください。

カメラビューが表示されます。車両が前進していることをカメラが検知すると、カメラは自動的にビデオの送信を停止し、ナビゲーションデバイスは通常の動作に戻ります。車両が前進したかどうかにかかわらず、2分30秒後にカメラ映像は自動的に消去されます。

カメラを切り替える

複数のバックアップカメラが、デバイスに情報を送信している場合、それらのカメラの画像を切り替えることができます。

- 1  > ツール > リアビューの順に選択します。

- 2 画面下部からカメラを選択します。

カメラからのビデオフィードが表示されます。


カメラの向きの変更

カメラの車両上の設置場所によっては、映像がデフォルトで上下逆、または左右が逆になる場合があります。映像を水平方向に回転したり、垂直方向に反転して修正できます。

- 1 カメラビューから、次のオプションを選択します。

- ・  > **ビデオを調整する**の順に選択します。
- ・ 画面をタップし、 を選択します。

- 2 画像を反転するには、 を選択するか、 を選択して画像を反転します。

- 3  を選択します。

電動マウントへのダッシュカメラの接続

⚠ 警告

取り付け場所がすべての適用法および条例を遵守していること、また道路の視界を妨げないようにして車両の安全な操作を保証する責任はお客様にあります。

ダッシュカメラを電動マウントに接続する前に、ダッシュカメラデバイスをフロントガラスに取り付ける必要があります。

dēzl デバイスマウントを使用して、互換性のある Garmin ダッシュカメラに電力を供給できます。車両の同じ電源に dēzl デバイスとダッシュカメラを接続する必要がある場合に便利です。

- 1 dēzl デバイスを車両に取り付けて電源に接続します ([車両へのデバイスの取り付けと電源の供給, 2 ページ](#))。
- 2 必要に応じて、マグネット式マウントから dēzl デバイスを取り外し、USB ポートを見やすくします。
- 3 ダッシュカメラの電源ケーブルをマウントの USB ポート ① に接続します。



データ管理

デバイスには、データストレージを追加できるメモリーカードスロットがあります。

注：このデバイスは Windows 7 以降、および Mac OS 10.7 以降に対応しています。Apple コンピュータは、ファイルを読み書きするのに追加のサードパーティソフトウェアを必要とする場合があります。

メモリーカードについて

家電販売店からメモリーカードを購入したり、あらかじめロードされている Garmin 地図ソフトウェア (www.garmin.com) を購入できます。メモリーカードを使用すると、地図やカスタム POI などのファイルを保存できます。

地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する

メモリーカードを挿入して、デバイスの地図やその他のデータの記憶容量を増やすことができます。メモリーカードは家電販売店で購入できます。このデバイスは、4 ~ 256 GB の microSD メモリーカードに対応しています。メモリーカードは FAT32 ファイルシステムフォーマットを使用している必要があります。32 GB を超えるメモリーカードは、デバイスを使用してフォーマットする必要があります ([メモリーカードのフォーマット, 76 ページ](#))。

- 1 デバイスの地図およびデータメモリーカードスロットの場所を確認します ([デバイスの概要, 1 ページ](#))。
- 2 メモリーカードをスロットに挿入します。
- 3 カチッと音がするまで押し込んでください。

メモリーカードのフォーマット

デバイスには、FAT32 ファイルシステムでフォーマットしたメモリーカードが必要です。デバイスを使用すると、このファイルシステムでカードをフォーマットできます。

新品のメモリーカードは、FAT32 ファイルシステムでフォーマットされていない場合はフォーマットする必要があります。

注：メモリーカードをフォーマットすると、カード上のデータがすべて削除されます。

- 1 **設定 > デバイス > ストレージと USB** の順に選択します。
- 2 メモリーカードを選択します。
- 3 **⋮ > 設定 > フォーマット > 消去してフォーマット** の順に選択します。
- 4 **完了** を選択します。

デバイスをコンピュータに接続する

USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続できます。

- 1 USB ケーブルの小さい方の端をデバイスのポートに接続します。
- 2 USB ケーブルの大きい方の端をコンピュータのポートに接続します。

コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。

コンピュータからデータを転送する

- 1 デバイスをコンピュータに接続します ([デバイスに接続する, 76 ページ](#))。
コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。
- 2 コンピュータで、ファイルブラウザを開きます。
- 3 ファイルを選択します。
- 4 **[編集] > [コピー]** の順に選択します。
- 5 デバイス上のフォルダを参照します。
注：リムーバブルドライブまたはボリュームの場合、Garmin フォルダにファイルを入れないでください。
- 6 **[編集] > [貼り付け]** の順に選択します。

追加の地図を購入する

- 1 garmin.com のデバイス製品ページにアクセスします。
- 2 **[マップ]** タブをクリックします。
- 3 画面に表示される指示に従います。

アクセサリーを購入する

- ・ オプションのアクセサリーは、garmin.com または Garmin 販売店から入手できます。

